

バリデーション メッセージ一覧

2023年1月

金融庁 企画市場局 企業開示課

- ◆本書に掲載されている内容は、2023年1月現在のものです、予告なく変更される可能性があります。
- ◆本書で公開している情報の利用については、利用規約
(<https://disclosure2dl.edinet-fsa.go.jp/guide/static/submit/WZEK0030.html>)を遵守してください。

1-1	バリデーションメッセージの見方	1
1-2	アップロードに関するメッセージ	3
1-2-1	アップロードに関する例外	3
1-3	提出書類全般に関するメッセージ	6
1-3-1	提出書類全般に関する例外	6
1-3-2	表紙情報に関する例外	9
1-3-3	目次に関する例外	10
1-4	XBRLに関するメッセージ	11
1-4-1	EDINET ルールに関する例外	11
1-4-2	XBRL 仕様に関する例外	22
1-4-3	GFM 検証に関する例外	31
1-4-4	FRTA 検証に関する例外	36
1-4-5	FRIS 検証に関する例外	37
1-5	表示変換方式による XBRL に関するメッセージ	38
1-5-1	EDINET ルールに関する例外	38
1-5-2	FRTA 検証に関する例外	41
1-5-3	FRIS 検証に関する例外	43

はじめに

「バリデーションメッセージ一覧」（以下「本書」という。）は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（以下「EDINET」という。）の「アップロード」、「事前チェック」及び「仮登録」のチェックで表示される主なバリデーションメッセージ及びその対処方法を、一覧にまとめたものです。

本書の内容

表示されるメッセージには、提出書類全般に関するメッセージ及びXBRLに関するメッセージがあります。これらは、「アップロード」、「事前チェック」及び「仮登録」のチェック時に、提出書類情報の書式又は記載事項に間違いがある場合及びその可能性がある場合に表示されます。

これらのメッセージには、例外を修正しないと処理を継続できないものがあります。修正が必須のメッセージが表示された場合は、本書を参考に提出書類情報を修正してください。修正が必須でないメッセージについても内容を確認し、必要に応じて修正してください。

例外種別

「例外種別」が「ERROR」の場合は、処理を継続することはできません。「例外種別」が「SERIOUS WARNING」、「WARNING」又は「REMINDER」の場合は、処理を継続することができますが、いずれの場合も、誤りがないか提出書類情報を十分に確認し、必要に応じて修正してください。なお、本書に記載されている以外の例外は、画面上に表示されたメッセージに従い、対処してください。

■ 例外種別

表示	意味
ERROR	データ又は EDINET でエラーが発生していることを表します。 この種別の場合、処理を継続することはできません。データにエラーが発生している場合は、データの修正が必要となります。EDINET でエラーが発生している場合は、システム管理者まで御連絡ください。
SERIOUS WARNING	データに重大な警告が発生していることを表します。 処理を継続することはできますが、必要に応じて修正してください。 修正せずに提出した場合は、EDINET の書類比較機能の対象外となります。
WARNING	データに警告が発生していることを表します。 処理を継続することはできますが、必要に応じて修正してください。
REMINDER	データに注意喚起が発生していることを表します。 処理を継続することはできますが、必要に応じて修正してください。データ内容が正常であっても、例外と識別され、注意喚起が表示される場合があります。

Point




例外発生時の修正のポイント

一度に複数の例外が発生した場合は、上位に表示されている例外が原因で出力されている可能性があるため、メッセージの上位に表示されている例外から解消してください。

表紙情報又は目次項目の例外が発生した場合は、選択した府令、様式等が正しいかについても併せて確認してください。

本書内の記号について

本書内に記載されている記号は、次のような意味があります。

表示	意味
	参考情報について説明しています。

1-1 バリデーションメッセージの見方

「アップロード」、「事前チェック」及び「仮登録」のチェック時に表示されるメッセージの見方は、次のとおりです。

図表 1-1-1 アップロードに関する例外メッセージの例

提出書類詳細（作成中）画面

EC0183E : 圧縮後のファイル容量が55MBを超えています。

図表 1-1-2 事前チェック及び仮登録の一般的な例外メッセージの例

例外が発生した日時	コード	例外種別	
2012/12/25 12:34:56	EC8001E	[ERROR]	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。
ファイル名:jpaud-aai-cc-001_X00001-000_2012-03-31_01_2012-08-20.xsd			
≪名前空間 URI=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpaud/aai/cc/001/X99001-000/2012-03-31/1/2012-08-20≫ ≪規約=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpaud/{監査報告書略号}/{当期又は前期の別}{連結又は個別の別}{報告書連番(3桁)}/{EDINETコード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}≫			
↑ メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。)			

図表 1-1-3 XBRL 仕様に関する例外メッセージの例

例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別
2012/12/25 12:34:56	EC5800E	[ERROR]	ERROR_INLINE_XBRL_SPEC
Inline XBRL のスキーマバリデーション中にエラーが検出されました。名前空間“http://www.w3.org/1999/xhtml”に属する要素“p”は、この位置に出現することは許可されていません。(0101010_honbun_jpcrp030000-asr-001_X99999-000_2012-03-31_01_2012-06-28_ixbrl.htm [line=123, col=45])			
↑ メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。)			

図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例

例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別	ルール No.
2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR	FRIS 2.1.6]
XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. (For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2013-08-31/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent.)				
↑ メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。)				

1-2 アップロードに関する メッセージ

アップロードに関するメッセージ及び対処方法の一覧は、次のとおりです。

1-2-1 アップロードに関する例外

提出書類のアップロードに関する例外メッセージの出力例は、「図表 1-1-1 アップロードに関する例外メッセージの例」を参照してください。

図表 1-2-1 メッセージと対処方法（アップロードに関する例外）

※xxx、yyy、zzz 及び aaa は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC0100E	転送されたディレクトリ直下に規定外のディレクトリ又はファイルが存在します。 ディレクトリ名又はファイル名:xxx	ルートフォルダ直下に存在する次のフォルダ以外を削除し、再度アップロードしてください。 PublicDoc フォルダ※ PrivateDoc フォルダ※ AuditDoc フォルダ※ AttachDoc フォルダ PrivateAttach フォルダ XBRL フォルダ ※訂正報告時のみ
ERROR	EC0121E	xxxに 31 文字を超える、又は使用可能文字(半角英数字、'-' 及び' ')以外を使用しているディレクトリ又はファイルが存在します。 ディレクトリ名又はファイル名:yyy	ファイル名（又はフォルダ名）を 31 文字以内及び使用可能文字に修正し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0124E	xxx直下にファイルが存在しません。	該当するフォルダにファイルを格納する、又はフォルダを削除し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0126E	xxx が存在しません。	該当するフォルダを格納し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0127E	選択された様式で使用できないディレクトリが存在します。 ディレクトリ名:xxx	該当するフォルダを削除し、再度アップロードしてください。 該当するフォルダを提出する場合は、様式選択画面で選択した様式が正しいことを確認してください。
ERROR	EC0129E	xxxの付随ディレクトリはyyy階層までです。	サブフォルダの階層数を 3 階層以下にし、再度アップロードしてください。

1-2 アップロードに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC0130E	xxxのyyyには拡張子 zzz のファイルは設定できません。 ファイル名 :aaa	該当するファイルの拡張子を設定可能な拡張子に修正し、再度アップロードしてください。 ※設定可能な拡張子については『提出書類ファイル仕様書』の「図表 2-1-3 格納可能なファイル形式(1)」及び『提出書類ファイル仕様書』の「図表 2-1-5 格納可能なファイル形式(2)」を参照してください。
ERROR	EC0132E	xxx に yyy が存在しません。	該当するフォルダ直下にマニフェストファイル（又は表紙ファイル）を格納し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0183E	圧縮後のファイル容量が 55MB を超えています。	圧縮後のファイル容量を 55MB（メガバイト）以下にし、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0187E	xxx にファイルがない付随ディレクトリが存在します。	該当するサブフォルダにファイルを格納する、又はサブフォルダを削除し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0188E	xxx 直下にファイル名の先頭 7 文字が数値でないファイルが存在します。	該当するフォルダ直下にあるファイルのファイル名先頭 7 文字を数値に修正し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0192E	xxx の表紙ファイルは PublicDoc の表紙ファイルを使用するため、設定できません。	PrivateDoc から表紙ファイルを削除し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0198E	xxx 内のファイル数が上限値 (yyy) を超えています。	フォルダ内のファイル数を上限値以下にし、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0200E	XBRL ディレクトリに使用可能文字(半角英字、半角数字、'-' 及び '_')以外を使用しているファイルが存在します。 ファイル名 :xxx	該当するファイル名を使用可能文字に修正し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0206E	空のファイルが存在します。 ファイル名 :xxx	空のファイルを削除し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0233E	xxx 内の本文ファイル又は付随ファイルにファイル名ソート順で表紙ファイル (yyy) より先頭に来るファイルが存在します。 ディレクトリ名又はファイル名 : zzz	ファイル名ソート順で表紙ファイルより先頭に来るファイルがないことを確認し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0234E	付随ディレクトリに表紙ファイル (xxx) が存在しません。 ディレクトリ名又はファイル名 : yyy	サブフォルダに表紙ファイルがないことを確認し、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0237E	最下層までのディレクトリ又はファイルパスが最大値(259 文字)を超えています。	フォルダ（又はファイル）の絶対パスを 259 文字以下にし、再度アップロードしてください。
ERROR	EC0349E	xxx に規定外のディレクトリ又はファイルが存在しません。 ディレクトリ名又はファイル名 : yyy	対象フォルダ直下にはいずれかのみが設定されていることを確認してください。 PublicDoc フォルダ PrivateDoc フォルダ AuditDoc フォルダ
ERROR	EC0350E	xxx に、ファイル名の yyy と提出者の yyy が一致しないファイルが存在します。	ファイル名の EDINET コード（又はファンドコード）が開示書類等提出者 EDINET コード（又は対象書類のファンドコード）と一致することを確認し、再度アップロードしてください。

1-2 アップロードに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC0352E	ファイル名称が正しくないファイルが存在します。 ファイルパス:xxx	スキーマファイル名、リンクベース ファイル名又はインライン XBRL ファイル名の命名規約に則した ファイル名に修正し、再度アップ ロードしてください。
ERROR	EC0362E	添付書類が存在しません。選択した様式は、有価 証券報告書の添付書類に係る訂正です。	AttachDoc フォルダを格納し、再度 アップロードしてください。

1-3 提出書類全般に関するメッセージ

提出書類全般に関するメッセージ及び対処方法の一覧は、次のとおりです。

1-3-1 提出書類全般に関する例外

提出書類全般に関する例外メッセージの出力例は、「図表 1-1-2 事前チェック及び仮登録の一般的な例外メッセージの例」を参照してください。

図表 1-3-1 メッセージと対処方法（提出書類全般に関する例外）

※xxx、yyy、zzz 及び aaa は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n 及び m は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC1006E	禁止タグ(xxx)が、HTML 内で使用されています。ファイル名:yyy(n 行目)	該当するファイルの禁止タグを修正してください。 ※禁止タグについては、『バリデーションガイドライン』の「4-1-4 禁止規則」を参照してください。
ERROR	EC1007E	HTML 内のリンクが、URL 又は絶対パスを指定しています。ファイル名:xxx(n 行目)	該当するファイル内のリンクを相対パスに修正してください。
REMINDER	EC1009R	HTML ファイルのファイルサイズが、上限を超過しています。ファイル名:xxx	該当するファイルのファイルサイズが、2.5 MB (メガバイト) 以下に収まるように、ファイルを分割してください。 ※インライン XBRL ファイルの場合、一つの隅付き括弧(【】)目次の記載で 2.5MB(メガバイト)を超える場合は、分割せずに提出してください。インライン XBRL ファイルを分割する場合については、『報告書インスタンス作成ガイドライン』の「図表 3-1-1 インライン XBRL ファイル分割時の注意」を参照してください。
ERROR	EC1010E	文字コードが、UTF-8 ではありません。ファイル名:xxx	該当するファイルの文字コードを UTF-8 にしてください。

1-3 提出書類全般に関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC1011E	言語設定が、日本語ではありません。 ファイル名:xxx(n行目)	該当するファイルのn行目のlang属性に、次のいずれかを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ja ➤ jp ➤ ja-jp ➤ JA ➤ JP ➤ JA-JP
ERROR	EC1012E	このHTMLファイルは、PDF変換した場合にA4横に収まりません。ファイル名:xxx	該当するファイルをA4横のサイズに収まるように修正してください。 ※A4横に収まるサイズについては、『提出書類ファイル仕様書』の「3-2-2-3 表示について」を参照してください。
WARNING	EC1012W	このHTMLファイルは、PDF変換した場合にA4縦に収まりません。ファイル名:xxx	該当するファイルをA4縦のサイズに収まるように修正してください。 ※A4縦に収まるサイズについては、『提出書類ファイル仕様書』の「3-2-2-3 表示について」を参照してください。
ERROR	EC1013E	HTML内のリンクが、付随ディレクトリ配下ではありません。ファイル名:xxx(n行目)	該当するファイル内のリンク先ファイルを、サブフォルダ配下に保存してください。
ERROR	EC1014E	HTML内のリンク先が、ファイルではありません。ファイル名:xxx(n行目)	該当するファイル内のリンク先をファイルに修正してください。
ERROR	EC1015E	HTML内のリンク先が、最上位ディレクトリを指定しています。ファイル名:xxx(n行目)	最上位フォルダへはリンク設定できません。該当するリンクを修正してください。
ERROR	EC1016E	画像ファイルが、300KBを超えています。ファイル名:xxx	該当する画像ファイルを300KB(キロバイト)以下のサイズで作成してください。
ERROR	EC1017E	リンクされていないファイルが、存在しています。ファイル名:xxx	サブフォルダを削除又はサブフォルダ内の該当するファイルにリンクを設定してください(EnglishDoc以外)。
ERROR	EC1020E	HTMLの文法が、正しくありません。ファイル名:xxx(n行目)	DOCTYPE宣言を記載する場合、複数定義しないでください。 また、htmlタグ、headタグ及びbodyタグを、各々一つのみ記載するように該当するファイルを修正してください。
ERROR	EC1021E	リンク先のファイル(xxx)が、存在しません。ファイル名:yyy(n行目)	該当するファイル内のリンク先及びリンク先ファイルの有無を確認してください。
WARNING	EC1022W	ファイルが、PDFファイルとして認識できません。ファイル名:xxx	該当するファイルをPDFファイルとして修正してください。 ※PDFファイル作成時に、「ファイル全体圧縮」(Object Stream 又は Cross-Reference Stream)を使用している場合は、「ファイル全体圧縮」を使用せずにPDFファイルを作成してください。
ERROR	EC1023E	ファイルが、他のファイル(xxx)からリンクされています。ファイル名:yyy	PDFファイルへのリンクが設定されていません。該当するファイルからのリンクを削除してください。
ERROR	EC1024E	ファイルにJavaScriptActionが使用されています。ファイル名:xxx	PDFファイルにJavaScriptActionは使用できません。該当するPDFファイルを修正してください。
ERROR	EC1025E	ファイルにSoundActionが使用されています。ファイル名:xxx	PDFファイルにSoundActionは使用できません。該当するPDFファイルを修正してください。
ERROR	EC1026E	ファイルにMovieActionが使用されています。ファイル名:xxx	PDFファイルにMovieActionは使用できません。該当するPDFファイルを修正してください。
ERROR	EC1027E	ファイルにLaunchActionが使用されています。ファイル名:xxx	PDFファイルにLaunchActionは使用できません。該当するPDFファイルを修正してください。

1-3 提出書類全般に関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC1028E	ファイルに外部リンクが存在します。ファイル名:xxx	PDFファイルに、URIAction及びWebCaptureは使用できません。該当するリンクを削除してください。また、インラインXBRL又はHTMLファイルにおいて、CSSのプロパティ値(uri)に外部参照を使用している場合も、該当する設定を削除してください。
ERROR	EC1029E	ファイルにOLE機能が埋め込まれています。ファイル名:xxx	PDFファイルにFileAttachmentAction及びEmbeddedFilesは使用できません。該当するリンクを削除してください。
ERROR	EC1030E	ファイルに使用禁止文字を使用しているか、又は文字コードがUTF-8ではありません。ファイル名:xxx(n行目 m文字目)	使用禁止文字は使用できません。使用禁止文字を修正してください。また、該当するファイルの文字コードを確認し、UTF-8に修正してください。
ERROR	EC1031E	HTML内に禁止属性(xxx)が使われています。ファイル名:yyy(n行目)	該当するファイルのタグの属性を修正してください。 ※禁止属性については『バリデーションガイドライン』の「4-1-4 禁止規則」を参照してください。
ERROR	EC1032E	PDFファイルが、5MBを超えています。ファイル名:xxx	該当するファイルのファイルサイズが、5MB(メガバイト)以下に収まるようにしてください。
ERROR	EC1033E	ファイルにScreenActionが使用されています。ファイル名:xxx	PDFファイルにScreenActionは使用できません。該当するPDFファイルを修正してください。
ERROR	EC1034E	このHTMLファイルは、PDF変換した場合にA4に収まりません。文字列(xxx)が印刷領域を超えています。ファイル名:yyy	A4サイズのPDFに変換できるように、該当するHTMLファイルを修正してください。 ※A4サイズで印刷できるサイズについては、『提出書類ファイル仕様書』の「3-2-2-3 表示について」を参照してください。
ERROR	EC1035E	HTML内のリンク先指定に、上位フォルダを指定するパスが使用されています。ファイル名:xxx(n行目)	サブフォルダから上位フォルダへリンクを設定することはできません。該当するリンクを削除してください。
ERROR	EC1036E	HTML内のスタイルシート及びコメントに、禁止キーワード(xxx)が使用されています。ファイル名:yyy(n行目)	該当するスタイルシート又はコメントを修正してください。
ERROR	EC1037E	タグ(xxx)の属性(yyy)に、禁止キーワード(zzz)が使用されています。ファイル名:aaa(n行目)	該当するファイルのタグの属性に設定している値を修正してください。
ERROR	EC1038E	PDFファイルに、パスワードが設定されています。ファイル名:xxx	該当するPDFファイルの参照パスワードを解除してください。
ERROR	EC1039E	PDFファイルの印刷が、許可されていません。ファイル名:xxx	該当するPDFファイルの印刷ができるように設定してください。

1-3-2 表紙情報に関する例外

表紙情報に関する例外メッセージの出力例は、「図表 1-1-2 事前チェック及び仮登録の一般的な例外メッセージの例」を参照してください。

図表 1-3-2 メッセージと対処方法（表紙情報に関する例外）

※xxx 及び yyy は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC1000E	表紙に【表紙】がありません。ファイル名:yyy	該当するファイルに、「【表紙】」を追加してください。
ERROR	EC1001E	表紙項目【xxx】がありません。ファイル名:yyy	該当するファイルに、表紙項目【xxx】を追加してください。
ERROR	EC1002E	表紙項目【xxx】が重複しています。ファイル名:yyy	該当するファイルの表紙項目【xxx】を確認し、重複がないように記載してください。
ERROR	EC1003E	表紙項目【xxx】は、不要です。ファイル名:yyy(n行目)	該当するファイルの表紙項目【xxx】を削除してください。
ERROR	EC1004E	表紙項目の順序が、正しくありません。ファイル名:xxx	該当するファイルの表紙項目を正しい順序に修正してください。
ERROR	EC1005E	【xxx】に続く情報が、記入されていません。ファイル名:yyy	該当するファイルの項目【xxx】に続く情報を記入してください。
ERROR	EC1057E	表紙の【提出日】が、記入されていません。	該当するファイルの【提出日】の値を記入してください。

1-3-3 目次に関する例外

目次に関する例外メッセージの出力例は、「図表 1-1-2 事前チェック及び仮登録の一般的な例外メッセージの例」を参照してください。

図表 1-3-3 メッセージと対処方法（目次に関する例外）

※xxx 及び yyy は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC2001E	目次項目が、先頭に記載されていません。ファイル名:xxx	該当するファイルの目次項目を記載してください。
WARNING	EC2002W	目次番号が、記載されていません。ファイル名:xxx(n 行目)	該当するファイルの目次番号を記載してください。
ERROR	EC2003E	目次項目が、384 バイトを超えています。ファイル名:xxx(n 行目)	該当するファイルの目次項目を、384B (バイト) (全角 128 文字相当) 以内になるように修正してください。
ERROR	EC2004E	「【」が、重複しています。ファイル名:xxx(n 行目)	ブラウザで表示した際に、1 行に二つ以上の目次項目を表示することはできません。該当するファイルの隅付き括弧 (【) を、削除してください。
ERROR	EC2005E	目次が、重複しています。ファイル名:xxx(n 行目)	該当するファイルの重複している目次を削除してください。
ERROR	EC2007E	目次項目が、「】」で閉じられていません。ファイル名:xxx(n 行目)	該当するファイルの目次項目の隅付き括弧 (【) に対応する隅付き括弧 (】) を追加してください。
ERROR	EC2008E	目次項目に、HTML タグが使用されています。ファイル名:xxx(n 行目)	目次項目に HTML タグは使用できません。該当するファイルの HTML タグを削除してください。
ERROR	EC2009E	目次番号と目次項目の間に、使用できないタグが使用されています。ファイル名:xxx(n 行目)	該当するファイルの目次番号と目次項目の間に使用されているタグ (「del」又は「img」) を削除してください。
ERROR	EC2011E	本文内に、「【】又は「】」が使用されています。ファイル名:xxx(n 行目)	目次以外の本文中で、隅付き括弧 (【) は使用できません。該当するファイルの隅付き括弧 (【) を削除してください。 ※隅付き括弧(【)目次の記載については、『提出書類ファイル仕様書』の「3-4-3-1 本文ファイルとは」を参照してください。
ERROR	EC3000E	項目【xxx】が、不足しています。	該当する目次項目を記載してください。
ERROR	EC3001E	項目【xxx】が、重複しています。ファイル名:yyy(n 行目)	目次項目 xxx が複数存在します。該当するファイルの目次項目 xxx を修正してください。
ERROR	EC3002E	同一階層内に、目次項目の目次番号が重複しています。ファイル名:yyy(n 行目)	該当するファイルの目次項目の目次番号を修正してください。
ERROR	EC3003E	同一階層内の目次番号に、抜けがあります。ファイル名:xxx(n 行目)	該当するファイルに、抜けている目次番号を記載してください。
WARNING	EC3004W	目次番号が、様式で定められていたものではありません。ファイル名:xxx(n 行目)	該当するファイルに、EDINET で定義されている目次番号を記載してください。 ※目次番号については、『提出書類ファイル仕様書』の「図表 3-4-5 設定可能な目次番号の一覧」を参照してください。
ERROR	EC3005E	項目【xxx】の目次番号が、正しくありません。ファイル名:yyy(n 行目)	該当するファイルの目次項目の目次番号を修正してください。
ERROR	EC3006E	不要な目次項目【xxx】が、存在します。ファイル名:yyy(n 行目)	該当するファイルの不要な目次項目を削除してください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

XBRL に関する例外メッセージは、例外コードが「EC5000」、「EC7000」及び「EC8000」番台のメッセージが相当します。これらのメッセージが表示された場合は、XBRL データを確認し、修正を行います。
メッセージ及び対処方法の一覧は、次のとおりです。

1-4-1 EDINET ルールに関する例外

EDINET ルールに関する例外メッセージの出力例は、「図表 1-1-2 事前チェック及び仮登録の一般的な例外メッセージの例」を参照してください。

図表 1-4-1 メッセージと対処方法（EDINET ルールに関する例外）

※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC5000E	文字コードが、UTF-8 ではありません。 ファイル名: xxx	該当するファイルの文字コードを UTF-8 に修正してください。
ERROR	EC5003E	使用禁止文字が、使用されています。 ファイル名: xxx(n 行目 m 文字目)	該当するファイルに使用禁止文字が使用されています。使用禁止文字を修正してください。 ※使用可能文字については、『提出書類ファイル仕様書』の「4-1 文字コードセット」を参照してください。
WARNING	EC5029W	提出者別タクソノミでインポート又は参照している EDINET タクソノミのバージョンが、EDINET に登録されている情報と一致しません。	提出者別タクソノミでインポート又は参照している EDINET タクソノミは、様式選択画面で選択したタクソノミと同一のバージョンを利用してください。
ERROR	EC5030E	提出事由となるドキュメンテーションラベルが取得できません。	EDINET タクソノミの名称リンク（日本語及び英語）の参照を設定してください。設定されている場合は、表示リンクの設定が規約どおりではない場合があります。『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』の「7-10 臨時報告書作成時の禁止事項」とおりに設定されていることを確認してください。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC5031E	選択した様式(タクソミの組合せ)と提出者別タクソミでインポート又は参照している EDINET タクソミが一致しません。	国際会計基準タクソミを使用しない場合、様式選択画面で EDINET タクソミのみの組合せを選択し、提出書類ヘッダを作成してください。 また、国際会計基準タクソミを使用する場合、様式選択画面で国際会計基準タクソミを含む EDINET タクソミの組合せを選択し、提出書類ヘッダを作成してください。
ERROR	EC5032E	国際会計基準タクソミを適用した提出書類のマニフェストファイルにおけるインスタンス数が、正しく設定されていません。	国際会計基準タクソミを使用する場合、EDINET タクソミを適用したインスタンスのみを作成するようにマニフェストファイルに記載してください。
SERIOUS WARNING	EC5100S	様式ツリーのルート要素が正しく設定されていません。	様式ツリーにルート要素を設定してください。また、目次要素に日本語標準ラベル及び冗長ラベルが設定されていない可能性があります。名称リンクの設定を確認してください。 ※財務諸表本表のみ XBRL 対象の有価証券届出書で、記載すべき財務諸表がない場合は、様式ツリーが正しく設定され、データ内容が正常であっても、例外と識別され、重大な警告が表示される場合があります。
SERIOUS WARNING	EC5101S	要素(ElementId:xxx)の yyy が設定されていません。	該当する要素の日本語標準ラベル及び冗長ラベルを設定してください。
SERIOUS WARNING	EC5102S	要素(ElementId:xxx)のデータ型プレフィックス(Prefix:yyy)とデータ型名(ElementTypeName:zzz)の組合せが正しくありません。	データ型のプレフィックスとデータ型名を確認し、合致するように修正してください。
SERIOUS WARNING	EC5103S	様式ツリーに目次要素(ContentId:xxx)が複数設定されています。	様式ツリーに同一の目次要素が複数出現しないように修正してください。
ERROR	EC5600E	EDINET に登録されている情報が、「xxx(yyy)」と一致しません。EDINET 登録情報又は提出書類を確認してください。	該当する要素の値及び EDINET に登録されている情報を確認し、合致するように修正してください。 ※EDINET の登録情報は、『バリデーションガイドライン』の「4-2 値整合性」を参照してください。
WARNING	EC5600W		
REMINDER	EC5602R	DEI の「xxx(yyy)」の情報が、「zzz(aaa)」と一致しません。	該当する DEI の内容(メッセージに表示された要素)と、提出書類内の zzz の値を確認し、合致するように修正してください。
WARNING	EC5603W	「xxx(yyy)」が、記載されていません。	該当する要素を、提出書類(本文)に記載してください。 ※大量保有の第1の項目内容を記載してください。
WARNING	EC5604W	自己資金額、借入金額計及びその他金額計の合算値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類(【取得資金の内訳】取得資金合計(千円))を修正してください。 ※内訳及び合計の整合性を確認してください。 ＜修正対象＞ 第2-1-(7)①【取得資金の内訳】の「自己資金額(W)(千円)」 第2-1-(7)①【取得資金の内訳】の「借入金額計(X)(千円)」 第2-1-(7)①【取得資金の内訳】の「その他金額計(Y)(千円)」 第2-1-(7)①【取得資金の内訳】の「取得資金合計(千円)(W+X+Y)」

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	EC5605W	保有株券等の合算値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類（【保有株券等の数】保有株券等の数（総数））を修正してください。 <修正対象> 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
REMINDER	EC5606R	【保有株券等の数】の保有株券等の数（総数）/（保有潜在株式の数 + 【株券等保有割合】の発行済株式等総数（株・口））× 100 で算出された数値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類（【株券等保有割合】上記提出者の株券等保有割合）を修正してください。 <修正対象> 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
REMINDER	EC5607R	【保有株券等の数】の内訳の株券等の数から控除する株券等の数を減算した値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類（【保有株券等の数】保有株券等の数（総数））を修正してください。 <修正対象> 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
WARNING	EC5608W	【保有株券等の数】の新株予約権証券（株）、新株予約権付社債券（株）、対象有価証券カバードワラント、株券関連預託証券、株券関連信託受益証券、対象有価証券償還社債及び他社株等転換株券の全ての合算値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類（【保有株券等の数】保有潜在株式の数）を修正してください。 <修正対象> 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
WARNING	EC5610W	「xxx(yyy)」に未来の日付が設定されています。	該当する要素には、当日又は過去日付を設定してください。
WARNING	EC5611W	合計科目の「xxx(yyy)」の値「n」が、計算リンクの計算値「m」(項目数:l)と一致しません。	該当する要素及び計算リンクの設定を修正してください。 参考情報 p.21
ERROR	EC5612E	DEI の「xxx(yyy)」又は「zzz(aaa)」の情報が、正しくありません。	該当する DEI の xxx 又は zzz の値を確認し、修正してください。 ※DEI の設定値については、『バリデーションガイドライン』の「4-2-2-1 DEI 項目」を参照してください。
WARNING ERROR	EC5613W EC5613E	DEI の「xxx(yyy)」には、「Japan GAAP」、「US GAAP」又は「IFRS」のいずれかを設定してください。	DEI の「会計基準」の値を次のいずれかに設定してください。 ➢ Japan GAAP ➢ US GAAP ➢ IFRS
ERROR	EC5614E	DEI の「xxx(yyy)」の値が、存在しません。	該当する DEI の値を設定してください。
WARNING	EC5615W EC8057W	連結貸借対照表の貸借が、一致していません。	貸借の値が一致するよう修正してください。
WARNING	EC5616W EC8058W	貸借対照表の貸借が、一致していません。	貸借の値が一致するよう修正してください。 ※セグメント情報中の「セグメント資産」に対応する「負債純資産合計」が貸借対照表中にないことに起因する警告は対応不要です。
WARNING	EC5617W	「xxx(yyy)」の詳細タグ付けがされていません。	該当する要素の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC5618W	「xxx(yyy)」が、計算値と異なります。	該当する要素の値が正しい結果となるように、値を修正してください。
ERROR	EC5619E	追加 DEI の「xxx(yyy)」の値が、存在しません。	該当する追加 DEI の値を設定してください。

1-4 XBRL に関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC5620E	追加 DEI の「xxx(yyy)」の情報が、正しくありません。	該当する追加 DEI の xxx の値を確認し、修正してください。 ※追加 DEI の設定値については、『バリデーションガイドライン』の「4-2-2-2 みなし有価証券届出書の追加 DEI 項目」を参照してください。
WARNING	EC5620W		
REMINDER	EC5621R	【保有株券等の数】の保有株券等の数(総数) / (保有潜在株券等の数 + 【株券等保有割合】の発行済株式等総数(株・口)) × 100 で算出された数値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類 (【株券等保有割合】上記提出者の株券等保有割合) を修正してください。 <修正対象> 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
WARNING	EC5622W	【保有株券等の数】の新株予約権証券又は新投資口予約権証券等(株・口)、新株予約権付社債券(株)、対象有価証券カバードワラント、株券関連預託証券、株券関連信託受益証券、対象有価証券償還社債及び他社株等転換株券の全ての合算値が、「xxx(yyy)」と一致しません。	提出書類 (【保有株券等の数】保有潜在株券等の数) を修正してください。 <修正対象> 第2 提出者に関する事項 第3 共同保有者に関する事項 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表
WARNING	EC5623W	DEI の「xxx (yyy)」には、「IFRS」を設定してください。	DEI の「会計基準」の値に「IFRS」を設定してください。
ERROR	EC5804E	インスタンスファイル名が設定されていません。	マニフェストファイルの instance 要素の preferredFilename 属性値にインスタンス名を設定してください。
ERROR	EC5805E	インスタンスファイルの拡張子が「.xbrl」ではありません。ファイル名:xxx	マニフェストファイルの instance 要素の preferredFilename 属性値に設定しているインスタンス名の拡張子を「.xbrl」に修正してください。
ERROR	EC5806E	同一のインスタンスファイル名が複数設定されています。ファイル名:xxx	マニフェストファイルの instance 要素の preferredFilename 属性値は、同一ファイル内で一意となるように設定してください。
ERROR	EC7008E	xxx が、設定されていません。	該当する報告項目をタグ付けし、値を設定してください。
ERROR	EC7009E	xxx の桁数に誤りがあります。《要素=yyy》 《コンテキスト ID=zxx》	該当するコンテキスト ID の要素の値を修正してください。また、decimals 属性及び scale 属性も合わせて確認してください。
WARNING	EC8000W	報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。ファイル名:xxx 《名前空間 URI=yyy》 《規約 =http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jp{府令略号}{様式番号}/{報告書略号}/{報告書連番(3桁)}/{EDINETコード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}{報告義務発生日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}》	該当する報告書のスキーマファイルの名前空間 URI を、規約に則して設定してください。
WARNING	EC8001W	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間 URI が、規約に則していません。ファイル名:xxx 《名前空間 URI=yyy》 《規約 =http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpau d/{監査報告書略号}/{当期又は前期の別}{連結又は個別の別}/{報告書連番(3桁)}/{EDINETコード又はファンドコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}》	該当する監査報告書のスキーマファイルの名前空間 URI を、規約に則して設定してください。

1-4 XBRL に関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	EC8003W	報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間プレフィックスが、規約に則していません。ファイル名:xxx <<規約=jp[府令略号]様式番号-[報告書略号].[EDINET コード又はファンドコード]-[追番(3桁)]>>	該当する報告書のスキーマファイルの名前空間プレフィックスを、規約に則して設定してください。
WARNING	EC8004W	監査報告書のスキーマファイルの名前空間宣言で使用する名前空間プレフィックスが、規約に則していません。ファイル名:xxx <<規約=jp[aud]-[監査報告書略号]-[当期又は前期の別][連結又は個別の別].[EDINET コード又はファンドコード]-[追番(3桁)]>>	該当する監査報告書のスキーマファイルの名前空間プレフィックスを、規約に則して設定してください。
WARNING	EC8006W	報告書の拡張リンクロールの ID が、規約に則していません。ファイル名:xxx <<拡張リンクロール ID=yyy>> <<規約=rol_[ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)](-[修飾語])(-[連番 2桁])>>	該当する報告書のスキーマファイルの拡張リンクロールの「roleID」を、規約に則して設定してください。
WARNING	EC8007W	報告書の拡張リンクロールの roleURI が、規約に則していません。ファイル名:xxx <<roleURI=yyy>> <<規約=http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/role/[jp[府令略号]dei](-[報告書略号])/rol_[ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)](-[修飾語])(-[連番 2桁])>>	該当する報告書の拡張リンクロールの「roleURI」を、規約に則して設定してください。
WARNING	EC8008W	マニフェストファイルに設定する報告書インスタンスのファイル名が、規約に則していません。ファイル名:xxx <<規約=jp[府令略号]様式番号-[報告書略号]-[報告書連番(3桁)].[EDINET コード又はファンドコード]-[追番(3桁)].[報告対象期間期末日][報告義務発生日].[報告書提出回数(2桁)].[報告書提出日].xbrl>>	該当する報告書インスタンスのファイル名を、規約に則して設定してください。マニフェストファイルの記載内容を修正してください。
WARNING	EC8009W	マニフェストファイルに設定する監査報告書インスタンスのファイル名が、規約に則していません。ファイル名:xxx <<規約=jp[aud]-[監査報告書略号]-[当期又は前期の別][連結又は個別の別]-[報告書連番(3桁)].[EDINET コード又はファンドコード]-[追番(3桁)].[報告対象期間期末日].[報告書提出回数(2桁)].[報告書提出日].xbrl>>	該当する監査報告書インスタンスのファイル名を、規約に則して設定してください。マニフェストファイルの記載内容を修正してください。
WARNING	EC8011W	コンテキスト ID が、規約に則していません。コンテキスト ID:xxx <<規約={相対期間又は時点}[期間又は時点]({メンバーの要素名})×n(-[連番 3桁])>>	該当するコンテキスト ID を、命名規約に則して設定してください。コンテキスト ID を修正してください。 ※{相対期間又は時点}に「FutureDate」(予定日)を設定したことに起因する警告は対応不要です。
WARNING	EC8012W	財務諸表本表を詳細タグ付けする場合は、計算リンクベースファイルを作成する必要があります。	財務諸表本表を詳細タグ付けする場合、計算リンクベースファイルを提出してください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	EC8013W	財務諸表の拡張リンクロールに関連する要素のコンテキスト ID が、規約に則していません。	財務諸表の拡張リンクロールに関連する要素のコンテキスト ID を、規約に則して設定してください。 ※財務諸表の拡張リンクロールに関連する要素のコンテキスト ID の命名規約は、『バリデーションガイドライン』の「3-4-2 コンテキストの設定」を参照してください。
WARNING	EC8014W	インライン XBRL ファイルに個別を表すコンテキスト ID が存在しません。	インライン XBRL ファイルに、個別を表すコンテキスト ID を設定してください。 個別財務諸表を記載しない場合は、DEI 情報の「連結決済の有無」を確認してください。
REMINDER	EC8014R		
WARNING	EC8015W	インライン XBRL ファイルに個別を表すコンテキスト ID が存在します。	個別財務諸表に関わる情報を記載しない場合は、個別を表すコンテキスト ID を削除してください。 個別財務諸表を記載する場合は、DEI 情報の「連結決算の有無」を確認してください。 ※非連結から連結への変更があった場合は、データ内容が正常であっても、例外と認識され、警告が表示される場合があります。
WARNING	EC8018W	コンテキストの instant 要素が、DEI の「xxx(yyy)」の情報と一致しません。《コンテキスト ID=zzz》	該当するコンテキスト ID の instant 要素の値及び DEI 情報の値に、同じ値を設定してください。
WARNING	EC8019W	コンテキストの startDate 要素が、DEI の「xxx(yyy)」の情報と一致しません。《コンテキスト ID=zzz》	該当するコンテキスト ID の startDate 要素の値及び DEI 情報の値に、同じ値を設定してください。 ※連結会計年度と事業年度が異なることに起因する警告は対応不要です。
WARNING	EC8020W	コンテキストの endDate 要素が、DEI の「xxx(yyy)」の情報と一致しません。《コンテキスト ID=zzz》	該当するコンテキスト ID の endDate 要素の値及び DEI 情報の値に、同じ値を設定してください。
WARNING	EC8021W	DEI の「xxx(yyy)」の情報に「zzz(aaa)」より 1 年以上前の日付が設定されています。	該当する DEI 情報の xxx の値に、要素名 zzz の値より 1 年未満の値を設定してください。
WARNING	EC8023W	インライン XBRL ファイルにおいて、ix:nonFraction 要素の sign 属性に「-」(マイナス)を設定している場合は、ix:nonFraction 要素のタグの直前に「△」を設定する必要があります。また、ix:nonFraction 要素の sign 属性に「-」(マイナス)を設定していない場合は、ix:nonFraction 要素のタグの直前に「△」を設定する必要はありません。《要素=xxx》 《コンテキスト ID=yyy》	該当するコンテキスト ID の要素を修正してください。 インライン XBRL ファイルの ix:nonFraction 要素の sign 属性に「-」(マイナス)を設定している場合は、ix:nonFraction 要素のタグの直前に「△」を設定してください。また、ix:nonFraction 要素の sign 属性に「-」(マイナス)を設定していない場合は、ix:nonFraction 要素のタグの直前に「△」を設定しないでください。 ※日本基準の注記事項又は IFRS 財務諸表で提出者別追加要素を用いたタグ付けでは、データ内容が正常であっても、例外と識別され、警告が表示される場合があります。
ERROR	EC8024E	同一要素、同一コンテキスト及び同一ユニットのインスタンス値には、異なる値や異なる decimals 属性が存在してはいけません。《要素=xxx》 《コンテキスト ID=yyy》 《ユニット=zzz》	該当するコンテキスト ID の要素を修正してください。 インライン XBRL ファイルで、要素、コンテキスト ID 及びユニット ID が全て重複している要素は、値及び decimals 属性に同一の値を設定してください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	EC8026W	貸借対照表に記載している金額の単位と、decimals 属性の値又は scale 属性の値の設定が誤っています。ファイル名:xxx 《コンテキストID=yyy》 《要素=zzz》 《報告書に記載している金額の単位=aaa》 《decimals 属性=bbb》 《scales 属性=ccc》	該当するコンテキストIDの要素の decimals 属性又は scale 属性の値と、貸借対照表に記載している金額単位の整合性が正しいことを確認してください。また、他の表についても decimals 属性又は scale 属性の値を確認してください。
WARNING	EC8027W	表示リンク及び定義リンクでは、拡張リンクロールのルート要素は一つである必要があります。ファイル名:xxx 《拡張リンクロール=yyy》	該当するファイルの拡張リンクロールを修正してください。 表示リンク及び定義リンクにおける拡張リンクロールのルート要素は、一つのみ設定してください。
WARNING	EC8028W	提出者別タクソノミ内の同一要素及び同一ラベルロールのラベルでは、priority 属性が重複してはなりません。ファイル名:xxx 《要素=yyy》 《ラベル名=zzz》	該当するファイルの要素及びラベル名を確認してください。 提出者別タクソノミ内の同一要素及び同一のラベルロールは、priority 属性が重複しないように設定してください。
WARNING	EC8029W	表示リンク又は定義リンクに設定されている値を入力する要素 (abstract 属性が「false」の項目)が、インライン XBRL ファイルに設定されていません。《要素=xx》	該当する要素を確認してください。 表示リンク及び定義リンクに設定されている値を入力する要素 (abstract 属性が「false」の項目)をインライン XBRL ファイルに設定してください。 不要な項目の場合は、表示リンク及び定義リンクから削除してください。
WARNING	EC8030W	インライン XBRL ファイルに設定している DEI 以外の要素が、表示リンクに設定されていません。《要素=xxx》	該当する要素を、表示リンクに設定してください。
WARNING	EC8031W	コンテキスト ID が「FilingDateInstant」の instant 要素の値は、ファイル名に設定されている「報告書提出日」と一致する必要があります。ファイル名:xxx 《コンテキストID=yyy》	該当するファイルのファイル名に設定されている「報告書提出日」及びコンテキストID「FilingDateInstant」の instant 要素の値を修正してください。
ERROR	EC8032E	コンテキストの identifier は、DEI の「xxx(yyy)」の情報と一致する必要があります。《コンテキストID=zzz》	該当するコンテキストIDの identifier (先頭6桁)を、開示書類等提出者の EDINET コード (特定有価証券開示府令の場合、ファンドコード)と一致するように設定してください。
WARNING	EC8033W	コンテキスト(id=xxx)の startDate 要素に、コンテキスト(id=yyy)の endDate 要素より以前の日付が設定されています。	該当するコンテキストIDxxx及びyyyを確認してください。 コンテキストIDxxxの startDate 要素に、コンテキストIDyyyの endDate 要素より後の日付を設定してください。
WARNING	EC8034W	英語ラベルは、半角英数及び半角記号で設定する必要があります。ファイル名:xxx 《要素名=yyy》 《英語ラベル=zzz》	該当するファイルに記載されている要素の英語ラベルには、半角英数及び半角記号のみを設定してください。
WARNING	EC8035W	提出者別タクソノミに追加した要素は、xxxを設定する必要があります。ファイル名:yyy 《要素名=zzz》	該当する要素のラベルを設定してください。 提出者別タクソノミに追加した要素は、日本語の標準ラベル及び冗長ラベル並びに英語の標準ラベル及び冗長ラベルを設定してください。
WARNING	EC8036W	連結経営指標等の詳細タグ付けがされていません。	連結経営指標等の詳細タグ付けをしてください。 連結経営指標等を記載しない場合は、DEI情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	EC8037W	提出会社の経営指標等の詳細タグ付けがされていません。	提出会社の経営指標等の詳細タグ付けをしてください。 提出会社の経営指標を記載しない場合は、DEI情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8038W	大株主の状況の詳細タグ付けがされていません。	大株主の状況の詳細タグ付けをしてください。 ※大株主が一名の場合は、データ内容が正常であっても、例外と識別され、警告(注意喚起)が表示される場合があります。
REMINDER	EC8038R		
WARNING	EC8039W	連結貸借対照表の詳細タグ付けがされていません。	連結貸借対照表の詳細タグ付けをしてください。 連結貸借対照表を記載しない場合は、DEI情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8040W	貸借対照表の詳細タグ付けがされていません。	貸借対照表の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8041W	連結損益計算書の詳細タグ付けがされていません。	連結損益計算書の詳細タグ付けをしてください。 連結損益計算書を記載しない場合は、DEI情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8042W	損益計算書の詳細タグ付けがされていません。	損益計算書の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8043W	損益及び剰余金計算書の詳細タグ付けがされていません。	損益及び剰余金計算書の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8044W	連結株主資本等変動計算書の詳細タグ付けがされていません。	連結株主資本等変動計算書の詳細タグ付けをしてください。 連結株主資本等変動計算書を記載しない場合は、DEI情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8045W	株主資本等変動計算書の詳細タグ付けがされていません。	株主資本等変動計算書の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8046W	投資主資本等変動計算書の詳細タグ付けがされていません。	投資主資本等変動計算書の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8047W	社員資本等変動計算書の詳細タグ付けがされていません。	社員資本等変動計算書の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8048W	連結キャッシュ・フロー計算書の詳細タグ付けがされていません。	連結キャッシュ・フロー計算書の詳細タグ付けをしてください。 連結キャッシュ・フロー計算書を記載しない場合は、DEI情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8049W	キャッシュ・フロー計算書の詳細タグ付けがされていません。	キャッシュ・フロー計算書の詳細タグ付けをしてください。 キャッシュ・フロー計算書を記載しない場合は、DEI情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8050W	セグメント情報の詳細タグ付けがされていません。	セグメント情報の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8054W	コンテキストID(XXX)について、scenario要素に「NonConsolidatedMember」が設定されていません。	該当するコンテキストID及びscenario要素を修正してください。 ※コンテキストIDの命名規約については、『報告書インスタンス作成ガイドライン』の「5-4-1 コンテキストIDの命名規約」を参照してください。
WARNING	EC8055W	DEIの「xxx(yyy)」の情報と経理の状況の冒頭記載のタグ付けに整合性がありません。	DEI情報の「連結決算の有無」の値と、経理の状況の冒頭記載のタグ付けが、正しいことを確認してください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	EC8056W	総括表の【提出者及び共同保有者】の個人名／会社名の数、「xxx(yyy)」のメンバー数と一致しません。	提出書類（【提出者及び共同保有者】及び【共同保有における株券等保有割合の内訳】）を修正してください。 <修正対象> 第4 提出者及び共同保有者に関する総括表 1 【提出者及び共同保有者】の総数と (3)【共同保有における株券等保有割合の内訳】の総数
ERROR	EC8059E	「xxx(yyy)」の集計結果が、不整合です。	該当する要素の値が正しい結果となるように、値を修正してください。
WARNING	EC8059W		
ERROR	EC8060E	コンテキストの scenario 要素にデフォルトメンバー要素が設定されています。 《コンテキスト ID=xxx》	コンテキストの scenario 要素からデフォルトメンバー（ディメンションデフォルトのアーキタイプが設定されている要素）を削除してください。なお、削除した結果、GFM1.2.7 に違反する場合、当該コンテキストは不要であり設定できません。 GFM1.2.7 の詳細については、『添付 3 GFM 検証項目一覧.xls』を参照してください。
WARNING	EC8060W		
WARNING	EC8061W	連結財政状態計算書の詳細タグ付けがされていません。	連結財政状態計算書の詳細タグ付けをしてください。 連結財政状態計算書を記載しない場合は、DEI 情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8062W	連結財政状態計算書の貸借が、一致していません。	貸借の値が一致するよう修正してください。
WARNING	EC8063W	財政状態計算書の詳細タグ付けがされていません。	財政状態計算書の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8064W	財政状態計算書の貸借が、一致していません。	貸借の値が一致するよう修正してください。
WARNING	EC8065W	連結包括利益計算書の詳細タグ付けがされていません。	連結包括利益計算書の詳細タグ付けをしてください。 連結包括利益計算書を記載しない場合は、DEI 情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8066W	包括利益計算書の詳細タグ付けがされていません。	包括利益計算書の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8067W	連結持分変動計算書の詳細タグ付けがされていません。	連結持分変動計算書の詳細タグ付けをしてください。 連結持分変動計算書を記載しない場合は、DEI 情報の「連結決算の有無」が正しいことを確認してください。
WARNING	EC8068W	持分変動計算書の詳細タグ付けがされていません。	持分変動計算書の詳細タグ付けをしてください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	EC8069W	企業統治の体制の詳細タグ付けがされていません。	提出書類の文章構成との整合性に問題がなければ、次の3つの要素のいずれかを用いてタグ付けしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・「企業統治の体制の概要（監査役設置会社）[テキストブロック]」(CorporateGovernanceCompanyWithCorporateAuditorsTextBlock) ・「企業統治の体制の概要（監査等委員会設置会社）[テキストブロック]」(CorporateGovernanceCompanyWithAuditAndSupervisoryCommitteeTextBlock) ・「企業統治の体制の概要（指名委員会等設置会社）[テキストブロック]」(CorporateGovernanceCompanyWithNominatingAndOtherCommitteesTextBlock)
WARNING	EC8069W	役員区分ごとの報酬等の詳細タグ付けがされていません。	役員区分ごとの報酬等の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8070W	役員の詳細タグ付けがされていません。	役員の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8071W	財政状態計算書に記載している金額の単位と、decimals 属性の値又は scale 属性の値の設定が誤っています。ファイル名:xxx <<コンテキストID=yyy>> <<要素=zzz>> <<報告書に記載している金額の単位=aaa>> <<decimals 属性=bbb>> <<scale 属性=ccc>>	該当するコンテキスト ID の要素の decimals 属性又は scale 属性の値と、財政状態計算書に記載している金額単位の整合性が正しいことを確認してください。また、他の表についても decimals 属性又は scale 属性の値を確認してください。
WARNING	EC8072W	役員の状況に記載している所有株式数の単位と scale 属性の値の設定が誤っています。ファイル名:xxx <<コンテキストID=yyy>> <<要素=zzz>> <<報告書に記載している保有株式数の単位=aaa>> <<scale 属性=ccc>>	該当するコンテキスト ID の要素の scale 属性の値と、役員の状況に記載している所有株式数の単位の整合性が正しいことを確認してください。 ※「-（バー）」のタグ付けに起因する警告は、対応不要です。
ERROR	EC8073E	xxx に使用禁止文字が、使用されていません。要素名: yyy	該当する要素のラベルに使用禁止文字が使用されています。使用禁止文字を修正してください。
WARNING	EC8073W		※使用可能文字については、『提出書類ファイル仕様書』の「4-1 文字コードセット」を参照してください。
WARNING	EC8074W	役員メンバーの xxx に、使用推奨文字以外が、使用されています。要素名: yyy	該当する要素のラベルに使用推奨文字以外が使用されています。使用推奨文字に修正してください。 ※使用推奨文字については、『提出書類ファイル仕様書』の「4-1 文字コードセット」を参照してください。
WARNING	EC8075W	役員の女性比率の詳細タグ付けがされていません。	役員の女性比率の詳細タグ付けをしてください。
WARNING	EC8076W	「発行済株式、株式の総数等[テキストブロック]」(IssuedSharesTotalNumberOfSharesEtcTextBlock)のタグ付けがされていません。	「発行済株式、株式の総数等[テキストブロック]」のタグ付けをしてください。

1-4-1-1 代表的な例外の対処方法について

提出書類の代表的な例外の対処方法について説明します。

■ 例外メッセージ

EC5611W [WARNING] 合計科目の「純資産(NetAssets)」の値「925602000000」が、計算リンクの計算値「816861000000」(項目数:2)と一致しません。

■ データの様子

冗長ラベル	純資産
要素名(ローカル)	NetAssets
コンテキスト ID	CurrentQuarterInstant
合計科目の値	925602000000
計算値	816861000000
項目数(計算リンク上に計算値を求めるために定義されている項目数(科目数))	2

■ 対処方法

- ・ 計算リンク上に設定した要素名の誤りがないか確認してください
- ・ 値に誤りがないか確認してください
- ・ 計算リンクに設定した項目数に誤りがないか確認してください
- ・ 計算リンクに設定した weight 属性に誤りがないか確認してください
- ・ 『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』と照らし合わせて確認してください

1-4-2 XBRL 仕様に関する例外

XBRL 仕様に関する例外は、XII が公開する XBRL 2.1 Specification、XBRL Dimensions 1.0、Inline XBRL 1.0 等に関する例外です。マニフェストファイル又はインライン XBRL ファイル中に含まれる XBRL 仕様に関する例外が原因で発生します。

XBRL 仕様に関する例外メッセージの出力例については、「[図表 1-1-3 XBRL 仕様に関する例外メッセージの例](#)」を参照してください。

図表 1-4-2 メッセージ種別と対処方法 (XBRL 仕様に関する例外)

例外種別	コード	メッセージ種別	対処方法
ERROR	EC5800E	ERROR_DIMENSIONS_SPEC	XBRL Dimensions 仕様に関する例外があります。提出書類の XBRL Dimensions の記載を確認し、修正してください。 参考情報 p.30
ERROR	EC5800E	ERROR_ELEMENT_NOT_DEFINED_IN_EXTENDED_LINK_ROLE	様式ツリーの拡張リンクロール内に、insert 要素の parent 属性、start 属性及び end 属性で指定された要素に関するリンクが存在しません。拡張リンクロールを確認し、修正してください。
ERROR	EC5800E	ERROR_ENDING_ELEMENT_NOT_DEFINED_UNDER_STARTING_ELEMENT	終了目次項目が開始目次項目の配下に存在しません。目次項目を確認し、修正してください。
ERROR	EC5800E	ERROR_INLINE_XBRL_SPEC	Inline XBRL 仕様に関する例外があります。インライン XBRL ファイルの記載を確認し、修正してください。 参考情報 p.29
ERROR	EC5800E	FATAL_ERROR_FAILED_TO_LOAD_INLINE_XBRL_FILE	インライン XBRL ファイルの読み込みに失敗しました。マニフェストファイルの記載内容及びインライン XBRL ファイルのファイル名を確認してください。
ERROR	EC5800E	ERROR_XBRL_SPEC	XBRL 仕様に関する例外があります。提出書類を確認し、修正してください。
ERROR	EC5800E	FATAL_ERROR_DIMENSIONS_SPEC	XBRL Dimensions 仕様に関する例外があります。記載内容を再度確認してください。
ERROR	EC5800E	FATAL_ERROR_INLINE_XBRL_SPEC	Inline XBRL 仕様に関する例外があります。必要に応じてインライン XBRL の記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5800E	FATAL_ERROR_INVALID_MANIFEST	マニフェストファイルの定義に誤りがあります。内容を修正してください。
ERROR	EC5800E	FATAL_ERROR_TOC_TREE_NOT_DEFINED	様式ツリーが表示リンクに定義されていません。マニフェストファイル内の様式ツリーの記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5800E	FATAL_ERROR_XBRL_SPEC	XBRL 仕様に関する例外があります。提出書類を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_DENOMINATOR_ELEMENT_FAIL_TRANSLATION	インライン XBRL の fraction 要素の子要素 denominator 要素の値変換に失敗しました。インライン XBRL の記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_DENOMINATOR_ELEMENT_HAS_INCORRECT_SIGN_ATTRIBUTE	インライン XBRL の fraction 要素の子要素 denominator 要素の sign 属性値に「-」以外の値が設定されています。インライン XBRL の記載を確認し、「-」に修正してください。

1-4 XBRL に関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ種別	対処方法
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_DENOMINATOR_ELEMENT_NOT_MATCH_TRANSFORMATION_RULES	インライン XBRL の fraction 要素の子要素 denominator 要素の format 属性値が、Transformation Rules Registry に登録されていません。インライン XBRL の記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_DENOMINATOR_ELEMENT_HAS_NEGATIVE_VALUE	インライン XBRL の format 属性を持たない fraction 要素の子要素 denominator 要素に、負の値が設定されています。インライン XBRL の記載を確認し、値を修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_ELEMENT_ID_NOT_UNIQUE	インライン XBRL 要素の id 属性が重複しています。一意になるように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_EXCLUDE_ELEMENT_HAS_INCORRECT_ANCESTOR	インライン XBRL の exclude 要素の親要素が、footnote 要素又は nonNumeric 要素ではありません。親要素を確認し、該当する要素を footnote 要素又は nonNumeric 要素に修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FOOTNOTE_ELEMENT_HAS_NOT_FOOTNOTE_ID	インライン XBRL の footnote 要素に footnoteID 属性が設定されていません。footnoteID 属性を設定してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FOOTNOTE_ELEMENT_HAS_NOT_XML_LANG	インライン XBRL の footnote 要素の親要素に、lang 属性が設定されていません。親要素を確認し、lang 属性を追加してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FOOTNOTE_ID_NOT_UNIQUE	インライン XBRL の footnote 要素の footnoteID 属性が重複しています。footnoteID が一意になるように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_CONTEXTREF	インライン XBRL の fraction 要素の contextRef 属性の値が、context 要素の id 属性の値と一致しません。contextRef 属性又は id 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_FOOTNOTEREF	インライン XBRL の fraction 要素の footnoteRef 属性の値が、footnote 要素の footnoteID の値と一致しません。footnoteRef 属性又は footnoteID 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_TUPLEREF_ATTRIBUTE	インライン XBRL の fraction 要素の tupleRef 属性の値が、tuple 要素の id 属性の値と一致しません。tupleRef 属性又は id 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_UNITREF	インライン XBRL の fraction 要素の unitRef 属性の値が、unit 要素の id 属性の値と一致しません。unitRef 属性又は id 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_ELEMENT_HAS_NOT_REQUIRED_ATTRIBUTE	インライン XBRL の fraction 要素に、name 属性、contextRef 属性又は unitRef 属性が設定されていません。不足している属性を追加してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_ELEMENT_HAS_UNNECESSARY_ATTRIBUTE	インライン XBRL の fraction 要素に、名前空間「http://www.xbrl.org/2003/instance」で定義された属性が設定されています。該当する属性を削除してください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ種別	対処方法
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_ELEMENT_HAS_UNNECESSARY_CHILD_ELEMENT	インラインXBRLのfraction要素の子要素に、denominator要素及びnumerator要素以外の要素が含まれています。 該当する要素を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_HAS_INCORRECT_DENOMINATOR	インラインXBRLのfraction要素の子要素として、denominator要素が複数設定されています。 denominator要素が単一になるよう、該当する要素を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_HAS_INCORRECT_NUMERATOR	インラインXBRLのfraction要素の子要素として、numerator要素が複数設定されています。 numerator要素が単一になるよう、該当する要素を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_FRACTION_HAS_UNNECESSARY_CHILD	インラインXBRLのnil属性の値が「true」のfraction要素に、子要素が設定されています。 nil属性を削除する、又は該当する子要素を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_HEADER_ELEMENT_HAS_MORE_THAN_ONE_HIDDEN_ELEMENT	インラインXBRLのheader要素の子要素として、hidden要素が複数設定されています。 子要素のhidden要素が単一になるように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_HEADER_ELEMENT_HAS_MORE_THAN_ONE_RESOURCES	インラインXBRLのheader要素の子要素として、resources要素が複数設定されています。 子要素のresources要素が単一になるように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_HEADER_ELEMENT_NOT_DESCENDANT_HTML_HEAD_ELEMENT	インラインXBRLのheader要素の上位要素に、「XHTML」のhead要素が設定されています。 head要素を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_HIDDEN_ELEMENT_NOT_CHILD_HEAD_ELEMENT	インラインXBRLのhidden要素の親要素が、header要素ではありません。 header要素を追加してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_INCORRECT_VERSION_ATTRIBUTE_OF_HTML_ELEMENT	XHTMLのhtml要素のversion属性が、インラインXBRLのスキーマの公開識別子「-//XBRL International//DTD XHTML Inline XBRL 1.0//EN」と一致しません。 version属性を修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_FAIL_TRANSLATION	インラインXBRLのnonFraction要素の値変換に失敗しました。インラインXBRLの記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_CONTEXTREF_ATTRIBUTE	インラインXBRLのnonFraction要素のcontextRef属性の値が、context要素のid属性の値と一致しません。 contextRef属性又はid属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_FOOTNOTEREF	インラインXBRLのnonFraction要素のfootnoteRef属性の値が、footnote要素のfootnoteIDの値と一致しません。 footnoteRef属性又はfootnoteID属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_SIGN_ATTRIBUTE	インラインXBRLのnonFraction要素のsign属性の値に、「-」以外の値が設定されています。 インラインXBRLの記載を確認し、「-」に修正してください。

例外種別	コード	メッセージ種別	対処方法
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_TUPLE_REF_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonFraction 要素の tupleRef 属性の値が、tuple 要素の id 属性の値と一致しません。 tupleRef 属性又は id 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_INCORRECT_UNIT_REF_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonFraction 要素の unitRef 属性の値が、unit 要素の id 属性の値と一致しません。 unitRef 属性又は id 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_MORE_REQUIRED_ACCURACY_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nil 属性の値が、「true」の nonFraction 要素に decimals 属性又は precision 属性が設定されています。 nil 属性を削除する、又は decimals 属性及び precision 属性を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_NOT_REQUIRED_ACCURACY_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonFraction 要素に、decimals 属性又は precision 属性のどちらか一方が設定されていません。 decimals 属性又は precision 属性のどちらかを追加又は削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_NOT_REQUIRED_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonFraction 要素に、name 属性、contextRef 属性又は unitRef 属性が設定されていません。 name 属性、contextRef 属性及び unitRef 属性を追加してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_UNNECESSARY_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonFraction 要素に、名前空間「 http://www.xbrl.org/2003/instance 」で定義された属性が設定されています。 該当する属性を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_NOT_MATCH_TRANSFORMATION_RULES	インライン XBRL の nonFraction 要素の format 属性値が、Transformation Rules Registry に登録されていません。 インライン XBRL の記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONFRACTION_ELEMENT_HAS_NEGATIVE_VALUE	インライン XBRL の format 属性を持たない nonFraction 要素に、負の値が設定されています。 正の値に修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONNUMERIC_ELEMENT_FAIL_TRANSLATION	インライン XBRL の nonNumeric 要素の値変換に失敗しました。インライン XBRL の記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONNUMERIC_ELEMENT_HAS_INCORRECT_CONTEXT_REF_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonNumeric 要素の contextRef 属性の値が、context 要素の id 属性の値と一致しません。 contextRef 属性又は id 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONNUMERIC_ELEMENT_HAS_INCORRECT_FOOTNOTE_REF	インライン XBRL の nonNumeric 要素の footnoteRef 属性の値が、footnote 要素の footnoteID 属性の値と一致しません。 footnoteRef 属性又は footnoteID 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONNUMERIC_ELEMENT_HAS_INCORRECT_TUPLE_REF_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonNumeric 要素の tupleRef 属性の値が、tuple 要素の id 属性の値と一致しません。 tupleRef 属性又は id 属性の値が一致するように修正してください。

例外種別	コード	メッセージ種別	対処方法
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONNUMERIC_ELEMENT_HAS_NOT_REQUIRED_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonNumeric 要素に、name 属性又は contextRef 属性が設定されていません。 name 属性及び contextRef 属性を追加してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONNUMERIC_ELEMENT_HAS_UNNECESSARY_ATTRIBUTE	インライン XBRL の nonNumeric 要素に、名前空間 「 http://www.xbrl.org/2003/instance 」で定義された属性が設定されています。 該当する属性を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NONNUMERIC_ELEMENT_NOT_MATCH_TRANSFORMATION_RULES	インライン XBRL の nonNumeric 要素の format 属性の値が、Transformation Rules Registry に登録されていません。 インライン XBRL の記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NUMERATOR_ELEMENT_FAIL_TRANSLATION	インライン XBRL の fraction 要素の子要素 numerator 要素の値変換に失敗しました。インライン XBRL の記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NUMERATOR_ELEMENT_HAS_INCORRECT_SIGN_ATTRIBUTE	インライン XBRL の fraction 要素の子要素 numerator 要素の sign 属性値に、「-」以外の値が設定されています。 インライン XBRL の記載を確認し、「-」に修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NUMERATOR_ELEMENT_NOT_MATCH_TRANSFORMATION_RULES	インライン XBRL の fraction 要素の子要素 numerator 要素の format 属性値が、Transformation Rules Registry に登録されていません。 インライン XBRL の記載を確認し、修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NUMERATOR_ELEMENT_HAS_NEGATIVE_VALUE	インライン XBRL の format 属性を持たない fraction 要素の子要素 numerator 要素に、負の値が設定されています。 正の値に修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_NUMERICS_HAS_NEGATIVE_INDICATOR	インライン XBRL の sign 属性が指定されている数値要素の値に、負の符号文字が含まれています。 数値要素から負の符号文字を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_REFERENCES_ELEMENT_HAS_UNNECESSARY_ATTRIBUTE	インライン XBRL の references 要素に、名前空間「 http://www.xbrl.org/2003/instance 」で定義された属性が設定されています。 該当する属性を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_REFERENCES_ELEMENT_NOT_CHILD_HEAD_ELEMENT	インライン XBRL の references 要素が、header 要素の子要素として設定されていません。 references 要素を header 要素の子要素に修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_REFERENCES_ELEMENTS_HAS_PLURAL_SAME_OTHER_ATTRIBUTE	インライン XBRL の同じ target 属性を持つ (target 属性が省略されている場合も含む。) references 要素に、 「 http://www.xbrl.org/2008/InlineXBRL 」以外の名前空間に属する、同じ QName の属性が複数存在します。 対応する属性を単一になるように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_RESOURCES_ELEMENT_NOT_CHILD_HEAD_ELEMENT	インライン XBRL の resources 要素が、header 要素の子要素として設定されていません。 resources 要素を header 要素の子要素に修正してください。

1-4 XBRL に関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ種別	対処方法
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_SCHEMA_VALIDATION_INPUT_DATA	インライン XBRL のスキーマバリデーション中に、例外が検出されました。記載内容を再度確認してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_CHILD_HAS_NOT_ORDER_ATTRIBUTE	インライン XBRL の tuple 要素の子要素に、order 属性が設定されていません。order 属性を未指定の子要素に、order 属性を追加してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_ELEMENT_HAS_INCORRECT_FOOTNOTEREF	インライン XBRL の tuple 要素の footnoteRef 属性の値が、footnote 要素の footnoteID 属性の値と一致しません。footnoteRef 属性又は tupleID 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_ELEMENT_HAS_INCORRECT_TUPLE_REF_ATTRIBUTE	インライン XBRL の tuple 要素の tupleRef 属性の値が、tuple 要素の id 属性の値と一致しません。tupleRef 属性又は id 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_ELEMENT_HAS_NOT_CHILD_ELEMENT	インライン XBRL の nil 属性の値が「true」ではない tuple 要素に子要素が設定されています。nil 属性を削除する、又は子要素を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_ELEMENT_HAS_NOT_REQUIRED_ATTRIBUTE	インライン XBRL の tuple 要素に、name 属性が設定されていません。name 属性を追加してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_ELEMENT_HAS_SAME_TUPLE_CONTENT	インライン XBRL の tuple 要素の tupleRef 属性に、自分自身又は親要素の tuple 要素が設定されています。該当する属性を自身又は親要素以外に修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_ELEMENT_HAS_UNNECESSARY_ATTRIBUTE	インライン XBRL の tuple 要素に、名前空間「 http://www.xbrl.org/2003/instance 」で定義されている属性が設定されています。該当する属性を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_HAVING_NIL_ATTRIBUTE_TRUE_HAS_CHILD_ELEMENT	インライン XBRL の nil 属性の値が「true」の tuple 要素の子要素が設定されています。nil 属性を削除する、又は子要素を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_PARENT_CHILD_TARGET_ATTRIBUTE_NOT_MATCH	インライン XBRL の tuple 要素の子要素の target 属性値が、tuple 要素の target 属性の値と一致しません。tuple 要素の子要素又は target 属性の値が一致するように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLE_SAME_ORDER_CHILD_NOT_MATCH_VALUE	インライン XBRL の tuple 要素の子要素で、order 属性の値が等しいにもかかわらず、値が異なる要素があります。重複する order 属性を削除してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_TUPLEID_NOT_UNIQUE	インライン XBRL の tuple 要素の tupleID 属性が重複しています。tupleID 属性が一意になるように修正してください。
ERROR	EC5801E	ERROR_IXBRL_XBRL_VALIDATION_TRANSFORMED_DATA	変換後のインスタンスファイルに対する XBRL2.1 仕様のバリデーション中に例外が検出されました。記載内容を再度確認してください。
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_ELEMENT_HAS_NOT_NAME_ATTRIBUTE	インライン XBRL の要素に、name 属性が設定されていない要素があります。該当する要素に name 属性を追加してください。

例外種別	コード	メッセージ種別	対処方法
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_INCORRECT_ROOT_ELEMENT	インライン XBRL ファイルのルート要素が正しくありません (<html>タグの xmlns 指定の名前空間が http://www.w3.org/1999/xhtml ではない。)。 インライン XBRL ファイルのルート要素を修正してください。
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_PARSE_NOT_EXIST_HEADER_ELEMENT_IN_IXDS	提出したインライン XBRL ファイルの中に、header 要素が存在しません。 header 要素を追加してください。
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_PARSE_NOT_EXIST_REFERENCES_ELEMENT_IN_IXDS	提出したインライン XBRL ファイルの中に、references 要素が存在しません。 references 要素を追加してください。
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_PARSE_NOT_EXIST_RESOURCES_ELEMENT_IN_IXDS	提出したインライン XBRL ファイルの中に、少なくとも一つ以上の resources 要素が存在しません。 resources 要素を追加してください。
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_RESOLVINGHref_RELATIVE_URI	インライン XBRL ファイルの href 属性の相対 URI が解決できません。 記載内容を再度確認してください。
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_TRANSFORMING_IXBRL_DOCUMENT_INTO_XBRL_DOCUMENT	インライン XBRL ファイルから XBRL ファイルへの変換中に例外が発生しました。記載内容を再度確認してください。
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_UNRESOLVED_QNAME_OF_NAME_ATTRIBUTE	インライン XBRL ファイルの name 属性の QName が解決できない例外が発生しました。 記載内容を再度確認してください。
ERROR	EC5801E	FATAL_ERROR_IXBRL_XBRL_VALIDATION_TRANSFORMED_DATA	変換後のインスタンスファイルに対する XBRL2.1 仕様のバリデーション中に例外が発生しました。 記載内容を再度確認してください。
ERROR	EC5801E	UNEXPECTED_ERROR_XBRL_VALIDATION	インライン XBRL ファイル内に複数の target 属性値は設定できません。 target 属性の記載を修正してください。

1-4-2-1 代表的な例外の対処方法について

XBRL 仕様に関する代表的な例外の対処方法について説明します。

■ 例外メッセージ

EC5800E [ERROR] ERROR_INLINE_XBRL_SPEC Inline XBRL のスキーマバリデーション中に例外が検出されました。名前空間“http://www.w3.org/1999/xhtml”に属する要素“P”は、この位置に出現することは許可されていません。(ファイル名 [行数, 桁数])

■ 対処方法

次のようにタグが大文字で記載されている箇所があります。

```
<P>〇〇〇</P>
```

タグは全て小文字で記載します。該当するタグを小文字に修正してください。

■ 例外メッセージ

EC5800E [ERROR] ERROR_INLINE_XBRL_SPEC Inline XBRL のスキーマバリデーション中に例外が検出されました。名前空間“http://www.w3.org/1999/xhtml”に属する要素“p”は、この位置に出現することは許可されていません。(ファイル名 [行数, 桁数])

■ 対処方法

次のような記載がないか確認してください。

- 【A】インライン要素(タグ)の子要素としてブロック要素(<p>タグ)が記載されている箇所があります。

```
<span><p>〇〇〇</p></span>
```

- 【B】ブロック要素(<p>タグ)の子要素としてブロック要素が記載されている箇所があります。

```
<p><div>〇〇〇</div></p>
```

【A】のように、インライン要素の子要素としてブロック要素を指定することはできません。該当するタグを修正してください。

【B】のように、ブロック要素(<p>タグ)は子要素としてブロック要素を指定することはできません (<div>タグは他のブロック要素を指定することが可能です。

例：<div><p>〇〇〇</p></div>)。該当するタグを修正してください。

インライン XBRL の仕様に則したタグを使用しているかどうかを確認してください。

■ 例外メッセージ

EC5800E [ERROR] ERROR_DIMENSIONS_SPEC [Ins Err, 6]

xbrldie:ExplicitMemberUndefinedQNameError : The QName value of the xbrldi:explicitMember element is not an element defined in the taxonomy schema. : context =

CurrentYearInstant_jpcrp030000-asr_X99001-000No11MajorShareholdersMember, qname =
jpcrp030000-asr_X99001-000:No11MajorShareholdersMember_XXX

■ データの様子

◆インライン XBRL ファイル

```
<xbrli:context id="CurrentYearInstant_jpcrp030000-asr_X99001-000No11MajorShareholdersMember">
  <xbrli:entity>
    <xbrli:identifier scheme="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp">X99001-000</xbrli:identifier>
  </xbrli:entity>
  <xbrli:period>
    <xbrli:instant>2012-03-31</xbrli:instant>
  </xbrli:period>
  <xbrli:scenario>
    <xbrldi:explicitMember dimension="jpcrp_cor:MajorShareholdersAxis">
      jpcrp030000-asr_X99001-000:No11MajorShareholdersMember_XXX
    </xbrldi:explicitMember>
  </xbrli:scenario>
</xbrli:context>
```

同じかどうか確認

同じかどうか確認

◆スキーマファイル

```
<xsd:schema targetNamespace="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpcrp030000/asr/001/X99001-000/2012-03-31/01/2012-06-28" attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns:jpcrp030000-asr_X99001-000="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/jpcrp030000/asr/001/X99001-000/2012-03-31/01/2012-06-28" xmlns:nonnum="http://www.xbrl.org/dtr/type/non-numeric" xmlns:link="http://www.xbrl.org/2003/linkbase" xmlns:xbrli="http://www.xbrl.org/2003/instance" xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink">
  . . .
  <xsd:element name="No11MajorShareholdersMember" id="jpcrp030000-asr_X99001-000_No11MajorShareholdersMember" type="nonnum:domainItemType" substitutionGroup="xbrli:item" abstract="true" nillable="true" xbrli:periodType="duration"/>
  <xsd:element name="NotesRegardingLossOnRetirementOfPropertyPlantAndEquipmentTextblock" id="jpcrp030000-asr_X99001-000_NotesRegardingLossOnRetirementOfPropertyPlantAndEquipmentTextblock" type="nonnum:textBlockItemType" substitutionGroup="xbrli:item" abstract="false" nillable="true" xbrli:periodType="duration"/>
</xsd:schema>
```

■ 対処方法

スキーマファイルの targetNamespace 属性の URI 及び「jpcrp030000-asr_X99001-000」の名前空間の URI が同じかどうかを確認してください。また、スキーマファイルで定義されている要素名及びインライン XBRL ファイルで参照している要素名に誤りがないかどうかを確認してください。異なっている場合は修正してください。

1-4-3 GFM 検証に関する例外

GFM 検証の例外メッセージに対する修正は、提出書類のインライン XBRL ファイル、スキーマファイル又はリンクベースファイルに対して行います。

GFM 検証に関する例外メッセージの出力例については、「[図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例](#)」を参照してください。

※GFM については、『EDINET タクソノミ用語集』を参照してください。GFM 検証項目については、『バリデーションガイドライン 添付 3 GFM 検証項目一覧』を参照してください。

図表 1-4-3 メッセージ種別と対処方法 (GFM 検証に関する例外)

例外種別	コード	ルール No.	対処方法
WARNING	EC5700W	1.1.3	href 属性又は linkbase 要素の schemaLocation 属性には、次のいずれかが設定されていなければなりません。 ・ EDINET タクソノミの外部参照 ・ スラッシュを含まない相対パス また、href 属性の URI に続く「#」の後には、id が指定されていなければなりません。 属性値を変更してください。
WARNING	EC5700W	1.1.5	開示書類等提出者は、EDINET で定める EDINET タクソノミを使用しなければなりません。 ※EDINET で定めるタクソノミについては、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』の「1-3 提出者別タクソノミの作成の進め方」及び「4-8 EDINET タクソノミのインポート」を参照してください。
WARNING	EC5700W	1.1.6	提出書類は、一つ以上の提出者別タクソノミを作成してください。 ※提出者別タクソノミについては、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』の「1-3 提出者別タクソノミの作成の進め方」を参照してください。
WARNING	EC5700W	1.1.7	xml:base 属性が含まれています。 メッセージで表示されるファイルから、base 属性を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.2.1	identifier 要素の scheme 属性は、EDINET で定める形式でなければなりません。scheme 属性の値を変更してください。 ※scheme 属性については、『報告書インスタンス作成ガイドライン』の「5-4-2 エンティティ要素の設定」を参照してください。
WARNING	EC5700W	1.2.2	identifier 要素は、EDINET で定める形式でなければなりません。 identifier 要素の値を変更してください。 ※identifier 要素については、『報告書インスタンス作成ガイドライン』の「5-4-2 エンティティ要素の設定」を参照してください。
WARNING	EC5700W	1.2.3	全ての identifier 要素は、同一にしてください。
WARNING	EC5700W	1.2.4	コンテキストには、scenario 要素を設定してください。segment 要素は、設定しないでください。
WARNING	EC5700W	1.2.5	segment 要素又は scenario 要素の xbrldi:explicitMember 要素以外の子要素を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.2.7	コンテキストが重複しています。 重複を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.2.8	使用していないコンテキストは、不要であるならば削除してください。 参考情報 p.35
WARNING	EC5700W	1.2.9	コンテキストの startDate 要素及び endDate 要素を、異なる日付に設定してください。
WARNING	EC5700W	1.2.10	unit 要素の内容が重複しています。 重複を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.2.13	xml:lang 属性が日本語以外である要素が存在しますが、xml:lang 属性が日本語である要素が存在しません。日本語以外の要素を削除する、又は xml:lang 属性が日本語の要素を設定してください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	ルール No.	対処方法
WARNING	EC5700W	1.2.14	データ型が <code>nonnum:textBlockItemType</code> の要素の内容が、整形形式の XML (全ての開始タグと終了タグが対になっていること、入れ子になっているタグの終了タグが親タグの終了タグより後に来ないこと等、XMLの文法に従った形式) ではありません。整形形式となるように修正してください。
WARNING	EC5700W	1.2.16	<code>precision</code> 属性ではなく、 <code>decimals</code> 属性を使用してください。
WARNING	EC5700W	1.2.22	提出者別タクソノミで、 <code>link:footnoteArc</code> 要素の <code>xlink:arcrole</code> 属性を拡張しないでください。 <code>xlink:arcrole</code> 属性の値を「 <code>http://www.xbrl.org/2003/arcrole/fact-footnote</code> 」に修正してください。
WARNING	EC5700W	1.2.25	<code>period</code> 要素の日付は次の形式で設定してください。 YYYY (年) -MM (月) -DD (日)
WARNING	EC5700W	1.2.26	精度が保証されていない桁の数字を、0に変更する、又は <code>decimals</code> 属性を修正してください。
WARNING	EC5700W	1.2.27	使用していない単位は、不要であれば削除してください。
WARNING	EC5700W	1.2.28	名前空間に対応するプレフィックス宣言に誤りがあります。プレフィックスを修正してください。
WARNING	EC5700W	1.2.29	数値型(<code>http://www.xbrl.org/dtr/type/numeric</code>)の要素に、Unit Registry で定義された組合せの <code>unit</code> 要素を指定してください。
WARNING	EC5700W	1.2.30	コンテキストに、 <code>forever</code> 要素を設定しないでください。
WARNING	EC5700W	1.2.31	<code>measure</code> 要素のローカル名は、UTF-8 エンコーディングで、200B 以下となるように定義してください。
WARNING	EC5700W	1.3.1	提出者別タクソノミに、 <code>include</code> 要素が含まれています。 一つの提出者別タクソノミに統合してください。
WARNING	EC5700W	1.3.2	EDINET タクソノミを指定している <code>xsd:import</code> 要素の <code>schemaLocation</code> 属性が、正しいロケーションを指していません。 <code>schemaLocation</code> 属性を修正してください。
WARNING	EC5700W	1.3.8	提出者別タクソノミに、リンクベースが埋め込まれています。リンクベースファイルを別に定義してください。
WARNING	EC5700W	1.3.10	重複している <code>link:roleType</code> 要素を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.3.11	拡張リンクロールの <code>usedOn</code> 属性は、 <code>link:presentationLink</code> 、 <code>link:calculationLink</code> 及び <code>link:definitionLink</code> の全てを含むように設定してください。
WARNING	EC5700W	1.3.13	拡張リンクロールの「 <code>link:definition</code> 」から、先頭又は末尾の XML 空白文字及び改行文字を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.3.16	DTS 内に重複している <code>link:arcroleType</code> 要素を、削除してください。
WARNING	EC5700W	1.3.17	<code>link:arcroleType</code> 要素に、 <code>link:definition</code> 定義を追加してください。
WARNING	EC5700W	1.3.18	提出者別タクソノミに、要素名が EDINET タクソノミの要素と一致する要素が定義されています。 EDINET タクソノミと一致しないように、要素名を修正する、又は EDINET タクソノミの要素を使用し、提出者別タクソノミで追加した要素を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.3.19	提出者別タクソノミに定義した要素の <code>id</code> 属性は、次の形式で設定してください。 {名前空間プレフィックス}_{要素名}
WARNING	EC5700W	1.3.20	<code>nillable</code> 属性値に、「 <code>true</code> 」を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.3.21	ダブル定義を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.3.22	提出者別タクソノミに定義されている要素に、 <code>xbrldt:typedDomainRef</code> 属性を設定しないでください。
WARNING	EC5700W	1.3.23	<code>periodType</code> 属性に、「 <code>duration</code> 」を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.3.25	要素名を「 <code>Axis</code> 」で終わらないように修正する、又は <code>substitutionGroup</code> を「 <code>xbrldt:dimensionItem</code> 」に修正してください。
WARNING	EC5700W	1.3.26	要素名を「 <code>Table</code> 」で終わらないように修正する、又は <code>substitutionGroup</code> を「 <code>xbrldt:hypercubeItem</code> 」に修正してください。
WARNING	EC5700W	1.3.28	提出者別タクソノミで拡張した要素の要素名末尾が、「 <code>LineItems</code> 」の場合、 <code>abstract</code> 属性に「 <code>true</code> 」を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.3.29	提出者別タクソノミで拡張した要素の要素名末尾が、「 <code>Domain</code> 」又は「 <code>Member</code> 」の場合、 <code>type</code> 属性に「 <code>nonnum:domainItemType</code> 」を設定してください。

1-4 XBRL に関するメッセージ

例外種別	コード	ルール No.	対処方法
WARNING	EC5700W	1.3.30	periodType 属性に、「duration」を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.3.31	abstract 属性に、「true」を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.4.4	type 属性が「extended」又は「resource」の場合、xlink:role 属性に、拡張リンクロールを設定してください。
WARNING	EC5700W	1.4.6	link:arcroleRef 属性の値を、XBRL 2.1 仕様で規定されているもの又は EDINET タクソノミで規定されている値に修正してください。
WARNING	EC5700W	1.4.7	拡張リンク要素が、全て同じ名前空間及びローカル名を持つように修正してください。
WARNING	EC5700W	1.4.8	priority 属性値を、10 未満となるように修正してください。
WARNING	EC5700W	1.5.1	要素又は xbrldi:explicitMember に、日本語の標準ラベルを設定してください。
WARNING	EC5700W	1.5.2	例外メッセージに出力された role 属性及び xml:lang 属性を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.5.3	例外メッセージに出力された role 属性の日本語ラベルを設定してください。
WARNING	EC5700W	1.5.5	EDINET タクソノミで定義されている要素に、ドキュメンテーションラベルが設定されています。 ドキュメンテーションラベルを削除してください。
WARNING	EC5700W	1.5.6	ラベルの長さを 511 文字未満に設定してください。 ※文字数は、全角及び半角いずれも 1 文字として扱われます。
WARNING	EC5700W	1.5.7	文字「く」及び連続した空白文字（空白、CR、LF 及びタブ）を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.5.8	ラベルの先頭又は末尾の空白文字（空白、CR、LF 及びタブ）を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.5.10	非数値型の要素に、数値に関連するラベルを設定しないでください。 ※メンバー要素に合計ラベルを設定した場合、例外と識別され、警告が表示される場合がありますが、対処は不要です。
WARNING	EC5700W	1.6.1	表示リンクの link:presentationArc 要素に、order 属性を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.6.2	同一の親要素を持つ表示リンクの link:presentationArc 要素に、同一の order 属性値が設定されています。 order 属性値を変更してください。
WARNING	EC5700W	1.6.5	同一の親子関係を持つ表示リンクの link:presentationArc 要素に、同一の preferredLabel 属性値が設定されています。 preferredLabel 属性値を変更してください。
WARNING	EC5700W	1.7.1	計算リンクの link:calculationArc 要素に、order 属性を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.7.2	計算リンクの link:calculationArc 要素の weight 属性値に、「-1」又は「1」を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.7.3	計算リンクの link:calculationArc 要素のリンク元要素及びリンク先要素の periodType 属性値が異なります。 link:calculationArc 要素を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.7.4	計算リンクに有向ループが含まれています。有向ループを削除してください。 ※有向ループとは、アークの方向を意識して(from から to に)たどっていくと、一度通過済みの項目に戻ってしまうような定義です。
WARNING	EC5700W	1.7.5	計算リンクの link:calculationArc 要素のリンク元要素及びリンク先要素が、同一の表示リンクに出現していません。 これらの要素に対する表示リンクを定義してください。
WARNING	EC5700W	1.7.6	計算リンクから、親要素が同じ要素、かつ、order 属性が重複している要素を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.8.1	定義リンクの linkdefinitionArc 要素に、order 属性を設定してください。
WARNING	EC5700W	1.8.3	xlink:arcrole 属性「http://xbrl.org/int/dim/arcrole/dimension-domain」のリンク先の要素がドメイン又はメンバーではありません。xlink:arcrole 属性を削除する、又はリンク先要素の type 属性値を変更してください。
WARNING	EC5700W	1.8.4	domain-member 関連が無向ループを含んでいます。無向ループを削除してください。 ※無向ループとは、アークの方向を無視して項目同士を結んだ場合、ループになるような定義です。例えば、同一の Dimension 軸の複数箇所に、同一のメンバー要素が出現しないようにしてください。

1-4 XBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	ルール No.	対処方法
WARNING	EC5700W	1.8.5	xlink:arcrole 属性「http://xbrl.org/int/dim/arcrole/all」のアークが二つ以上定義されています。 不要な arcrole 属性を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.8.9	xbrldt:targetRole 属性に関連するアークを追加する、又は属性を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.8.10	定義リンクから、親要素及びアークロールが同じ要素、かつ、order 属性が重複している要素を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.8.11	拡張リンクロールの定義リンクにおいて、dimension-domain 及び domain-member でないアークに xbrldt:usable 属性を指定しないでください。
WARNING	EC5700W	1.9.1	開示書類等提出者の名前空間を持つ要素に参照リンクが定義されていません。参照リンクを削除してください。
WARNING	EC5700W	1.10.1	インライン XBRL ファイルを、Inline XBRL 仕様で提供されている XHTML+Inline タグの XML スキーマのとおりを作成してください。
WARNING	EC5700W	1.10.2	重複した id 属性を持つ要素を修正してください。
WARNING	EC5700W	1.10.3	インライン XBRL ファイルのルート要素以外にある、名前空間宣言を削除してください。
WARNING	EC5700W	1.10.4	XML 宣言のエンコーディング及び meta タグの charset に同一の値を指定してください。
WARNING	EC5700W	1.10.12	全てのインライン XBRL ファイルにおいて、複数の target 属性値が、存在してはいけません。target 属性値を修正してください (target 属性未指定及び target 属性指定ありが混在している場合も、WARNING 対象となります。)
WARNING	EC5700W	1.10.14	値を持つ要素から参照されていない ix:footnote 要素を削除してください。
WARNING	EC5700W	2.3.5	要素名は、標準ラベルに対応する大文字始まりの単語 (LC3 変換ルール) を用いて設定してください。
WARNING	EC5700W	2.5.1	DTS に含まれている表示リンクに、EDINET タクソノミを指定しないでください。
WARNING	EC5700W	2.6.1	DTS に含まれている計算リンクに、EDINET タクソノミを指定しないでください。
WARNING	EC5700W	2.8.1	DTS に含まれている参照リンクに、EDINET タクソノミを指定しないでください。

1-4-3-1 代表的な例外の対処方法について

GFM 検証の代表的な例外の対処方法について説明します。

■ 例外メッセージ

EC5700W [WARNING] GFM_ERROR [GFM: 1.2.8] 使用していないコンテキストは、不要であるならば削除してください。コンテキスト ID : ' **Prior1YearInstant** '.

■ データの様子

◆ファクト(要素とその値)

```
<tr style="height: 18.0pt; min-height: 18.0pt"><td style="vertical-align: top">
<p style="margin-left: 9.0pt; margin-top: 2.5pt">【提出書類】</p>
</td>
<td style="vertical-align: top"><p style="margin-right: 18.0pt; text-align: left; line-height: 13.5pt">
<ix:nonNumeric name="jpcrp_cor:DocumentTitleCoverPage" contextRef="FilingDateInstant">
有価証券届出書
</ix:nonNumeric>
</p>
</td>
</tr>
....
```

参照

◆コンテキスト宣言

```
<xbrli:context id="FilingDateInstant">
<xbrli:entity>
<xbrli:identifier scheme="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp">X99001-000</xbrli:identifier>
</xbrli:entity>
<xbrli:period>
<xbrli:instant>2012-08-20</xbrli:instant>
</xbrli:period>
</xbrli:context>
....
<xbrli:context id="Prior1YearInstant">
<xbrli:entity>
<xbrli:identifier scheme="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp">X99001-000</xbrli:identifier>
</xbrli:entity>
<xbrli:period>
<xbrli:instant>2012-03-31</xbrli:instant>
</xbrli:period>
</xbrli:context>
```

■ 対処方法

Prior1YearInstant のコンテキスト宣言が行われていますが、参照するファクト（要素とその値）が存在しないため例外となります。不要なコンテキスト宣言は削除してください。

1-4-4 FRTA 検証に関する例外

FRTA 検証の例外メッセージに対する修正は、提出書類のスキーマファイル又はリンクベースファイルに対して行います。

FRTA 検証に関する例外メッセージの出力例については、「図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例」を参照してください。

※FRTA 検証項目については、『バリデーションガイドライン 添付 1 FRTA 検証項目一覧』を参照してください。

図表 1-4-4 メッセージ種別と対処方法 (FRTA 検証に関する例外)

例外種別	コード	ルール No	メッセージ	対処方法
WARNING	EC5710W	2.1.9	All documentation of a concept must be contained in XBRL linkbases.	要素の定義において、xsd:documentation 要素を使用しないでください。
WARNING	EC5710W	2.1.11	All concepts within a taxonomy schema should have a unique label for the standard or verbose role in each language used.	冗長ラベル (冗長ラベルが設定されていない場合、標準ラベル) が、同一言語において重複するラベルを含んでいます。標準ラベル又は冗長ラベルのいずれかが、同一言語において一意となるように定義してください。
WARNING	EC5710W	3.1.10	Any role type definition for an extended-type link in a persisting DTS must have a human-readable explanation in its definition element.	ロールタイプ要素に definition を定義してください。
WARNING	EC5710W	4.2.2	Taxonomy schemas must be defined in XML documents in which the XML Schema “schema” element appears only as the root element.	提出者別タクソノミのルート要素が、schema 要素ではありません。提出者別タクソノミは、schema 要素をルート要素として設定してください。
WARNING	EC5710W	4.2.4	Taxonomy schemas must declare elementFormDefault to be “qualified,” attributeFormDefault must have the value “unqualified”, and the “form” attribute must not appear on element and attribute declarations.	提出者別タクソノミでスキーマファイルの elementFormDefault 属性に「qualified」が設定されていません。スキーマファイルの elementFormDefault 属性に「qualified」を設定してください。
WARNING	EC5710W	4.2.7	A label linkbase should only contain labels defined in a single language.	一つの名称リンクに複数の言語が定義されています。一つの名称リンクには、一つの言語のみ設定してください。
WARNING	EC5710W	4.2.11	Every schema in a DTS must define a non-empty targetNamespace attribute value.	DTS の中の全てのスキーマは、targetNamespace 属性の値を定義してください。

1-4-5 FRIS 検証に関する例外

FRIS 検証の例外メッセージに対する修正は、提出書類のインライン XBRL ファイル、スキーマファイル又はリンクベースファイルに対して行います。

FRIS 検証に関する例外メッセージの出力例については、「図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例」を参照してください。

※FRIS 検証項目については、『バリデーションガイドライン 添付 2 FRIS 検証項目一覧』を参照してください。

図表 1-4-5 メッセージ種別と対処方法 (FRIS 検証に関する例外)

例外種別	コード	ルール No	メッセージ	対処方法
WARNING	EC5711W	2.1.6	This rule relates to human comprehensibility; no consuming software application should ever fail to process an instance just because it uses a different namespace prefix. XBRL instances should use the recommended default namespace prefix for all namespaces.	EDINET タクソノミや提出者別タクソノミを含む DTS 内で宣言されている名前空間プレフィックスと、報告書インスタンス (インライン XBRL ファイル) で宣言されている名前空間プレフィックスとで異なるものが存在します。報告書インスタンス (インライン XBRL ファイル) の名前空間プレフィックスは、EDINET タクソノミや提出者別タクソノミを含む DTS 内で宣言されている名前空間プレフィックスと同じものを利用してください。
WARNING	EC5711W	2.9.4	All arcs within a footnote link must have the same arc role.	フットノートリンクのアークの中に、異なるアークロールを持つものが存在します。フットノートリンクのアークロールが全て同一となるように修正してください。

1-5 表示変換方式による XBRL に関するメッセージ

表示変換方式(平成 20 年から開始した EDINET における XBRL を HTML に変換する方式)に関する例外メッセージは、例外コードが「EC5000」番台のメッセージが相当します。これらのメッセージが表示された場合は、XBRL データを確認し、修正を行います。メッセージ及び対処方法の一覧は、次のとおりです。

1-5-1 EDINET ルールに関する例外

EDINET ルールに関する例外の代表的なメッセージ及び対処方法の一覧は、次のとおりです。

例外メッセージの出力例は、「図表 1-1-2 事前チェック及び仮登録の一般的な例外メッセージの例」を参照してください。

図表 1-5-1 メッセージと対処方法 (EDINET ルールに関する例外)

※xxx、yyy は表示されるメッセージ又は文字列を表します。n 及び m は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC5000E	文字コードが、UTF-8 ではありません。 ファイル名:xxx	該当するファイルの文字コードを確認してください。
ERROR	EC5001E	拡張リンクロールは、追加できません。 ファイル名:xxx	EDINET タクソノミに用意されているもの以外の拡張リンクロールは追加できません。企業別タクソノミの拡張リンクロールの定義を削除してください。
ERROR	EC5002E	株数 (xbri:sharesItemType) 項目 '{xxx}yyy'に対して株数(xbri:shares)以外の単位が設定されています。	単位を確認し、正しい内容を入力してください。
ERROR	EC5002E	ファイル[xxx]はアクセス可能なファイルではありません。	参照先のパスには、提出フォルダ内のファイル又は URL を設定してください。

1-5 表示変換方式によるXBRLに関するメッセージ

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC5002E	ファイル[xxx]は存在しません。	ファイル名又は当該ファイルの参照先を修正してください。
ERROR	EC5003E	使用禁止文字が、使用されています。 ファイル名:xxx(n行目 m文字目)	XBRL、XSD、XML ファイルを修正してください。
ERROR	EC5004E	期首項目または期末項目の値が見つからないため、コンテキストグループ'前中間連結会計期間(自 令和××年××月××日 至 令和××年××月××日)、『前連結会計年度の要約 連結株主資本等変動計算書(自 令和××年××月××日 至 令和××年××月××日)』の列は出力されません。	コンテキストに期首項目又は期末項目の値が設定されているか見直してください。 一つ前の期のコンテキストが存在しない場合は、コンテキストを作成し、期末項目の値を設定してください。
ERROR	EC5005E	表示情報ファイルのインスタンスファイル名が、正しく設定されていません。インスタンスファイル名:xxx	表示情報ファイルに記載されているインスタンスファイル名を修正してください。
ERROR	EC5006E	表示情報ファイルをXMLとして解析する際にエラーが発生しました。(詳細:xxx)	表示情報ファイルをXMLとして認識できる構文に修正してください。
ERROR	EC5007E	表示情報ファイルの xxx タグに、値が設定されていません。	表示情報ファイルに記載しているタグを修正してください。
ERROR	EC5008E	表示情報ファイルの InstanceCount は、xxx から yyy の範囲で定義してください。	表示情報ファイルに記載している InstanceCount の値を、xxx から yyy の範囲で設定してください。
ERROR	EC5009E	表示情報ファイルに定義された InstanceCount が InstanceInformation のタグ数と一致しません。	表示情報ファイルに記載している InstanceCount 及び InstanceInformation のタグの数を一致させてください。
ERROR	EC5010E	表示情報ファイルの xxx は、1 から 99 の範囲で定義してください。	該当するタグの値を修正してください。
ERROR	EC5011E	表示情報ファイルの改ページ行数の大小が、正しくありません。	該当するタグの値を修正してください。
ERROR	EC5014E	提出されたインスタンス数が、表示情報ファイルに定義したインスタンスファイル数と一致しません。	提出するインスタンスファイル数と表示情報ファイルに記載されたインスタンスファイル数を合わせてください。
WARNING	EC5015W	表示情報ファイルが存在しないため、HTML 変換は行われません。	表示情報ファイルを含めて再度提出してください。
ERROR	EC5016E	表示情報ファイルの xxx タグの値が、不正です。	表示情報ファイルにある該当するタグの値を修正してください。
ERROR	EC5017E	ファイル名:xxx が、表示情報ファイルに設定されていません。	表示情報ファイルに、インスタンスファイル名を設定してください。
ERROR	EC5018E	表示情報ファイルの xxx タグの値:yyy が、重複しています(重複数:n)。	該当するタグの値を修正してください。不要な場合は、表示情報ファイルから削除してください。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
ERROR	EC5019E	表示情報ファイルの xxx タグに、値が設定されていません (InstanceFileName:yyy)。	該当するタグに値を設定してください。
ERROR	EC5020E	表示情報ファイルの xxx タグに、値が設定されていません (InstanceFileName:xxx StatementID:yyy)。	該当するタグに値を設定してください。
ERROR	EC5022E	表示情報ファイルに定義しているファイル名が、本文ファイル名と重複していません。ファイル名:xxx	ファイル名の重複がないように、本文ファイル名又は表示情報ファイルに定義してあるファイル名を修正してください。

1-5-2 FRTA 検証に関する例外

FRTA 検証の例外メッセージに対する修正は、提出書類のスキーマファイル又はリンクベースファイルに対して行います。

FRTA 検証に関する例外メッセージの出力例については、「図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例」を参照してください。

図表 1-5-2 メッセージと対処方法 (FRTA に関連する例外)

エラー種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	2.1.10	A concept must have a label with the standard label role.	企業別タクソノミで新規に追加した要素に標準ラベルが指定されていない可能性があります。企業別タクソノミで新規に要素を追加した場合、標準ラベル、冗長ラベル及びドキュメンテーションのそれぞれの日本語名称及び英語名称を設定してください。
WARNING	2.1.11	All concepts within a taxonomy schema should have a unique label for the standard or verbose role in each language used in the DTS whose starting point is that schema.	企業別タクソノミで新規に追加した要素に指定した冗長ラベルが、既にあるいずれかの要素の冗長ラベルと同じである可能性があります。全ての要素で冗長ラベルが一意になるように設定してください。
WARNING	2.1.12	Each concept must have documentation in either the label or reference linkbase.	企業別タクソノミで新規に追加した要素にドキュメンテーションがついていない可能性があります。標準ラベル、冗長ラベル及びドキュメンテーションのそれぞれの日本語名称及び英語名称を設定してください。
WARNING	3.1.14	Two relationships defined by arcs in the same base set with the "use" attribute having the value "optional", having concepts as targets and sharing the same "from" concept should have distinct values for the "order" attribute.	表示リンク、計算リンク又は定義リンクにおいて、企業別タクソノミで新規に追加した要素と同一階層内に同じ order 属性を持つものが存在します。親の勘定科目が同一である場合は、その中で order 属性は一意になるように設定してください。
WARNING	3.2.3	Presentation parent-child relationships having the same parent and child in extended links with the same role should provide preferred labels.	表示リンクで、企業別タクソノミで新規に追加した要素と同一階層に、同じ親を持つ同一要素が存在します。多くの場合は、これは設定の誤りです。どちらか誤った設定を削除してください。設定が正しい場合は、同じ親を持つ同一階層内の同一要素には preferredLabel 属性によって適正なラベルを指定してください。 また、パターン別リンクベースファイルの選択で、いずれか一つを選ばなければならないものを複数選択（例：減価償却累計額の表示方法を 2 種類選択）した場合に同一階層内に同じ要素が現れて本メッセージが表示されることがあります。この場合、不要なパターンファイルを選択しないようにしてください。
WARNING	3.3.5	The declarations of the source and target concepts of a summation-item relationship must have identical values of the periodType attribute.	企業別タクソノミで新規に追加した要素に対して、期間時点区分が異なる別の要素間の計算リンクが設定されています。計算リンクを確認し、上記の計算関係を含む計算リンクの設定を削除してください。

エラー種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	4.2.4	Taxonomy schemas must declare elementFormDefault to be “qualified,” attributeFormDefault must have the value “unqualified”, and the “form” attribute must not appear on element and attribute declarations.	企業別タクソノミでスキーマファイルの elementFormDefault 属性に「qualified」が設定されていないか、attributeFormDefault 属性に「unqualified」が設定されていません。スキーマファイルの elementFormDefault 属性に「qualified」を設定するか、attributeFormDefault 属性に「unqualified」を設定してください。
WARNING	5.1.6	The concept-label, essence-alias, similar-tuples, concept-reference, and general-special relationships should not be prohibited.	企業別タクソノミで名称リンク、参照リンク又は定義リンクが上書きされています。名称リンク、参照リンク又は定義リンクの設定を確認し、名称リンク、参照リンク又は定義リンクの上書きの設定を削除してください。
WARNING	5.1.9	When an arc in an extension is equivalent to an arc in the base, the extension arc should have a higher priority than the base arc.	企業別タクソノミでの表示リンク又は計算リンクの上書きで、EDINET タクソノミのリンクの priority 属性よりも大きい値が設定されていません。表示リンク又は計算リンクの上書きをする場合は、use 属性が「prohibited」で priority 属性が EDINET タクソノミのアークよりも大きな値を設定したアークを追加してください。

1-5-3 FRIS 検証に関する例外

FRIS 検証の例外メッセージに対する修正は、提出書類のインライン XBRL ファイル、スキーマファイル又はリンクベースファイルに対して行います。

FRIS 検証に関する例外メッセージの出力例については、「図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例」を参照してください。

図表 1-5-3 メッセージ種別と対処方法 (FRIS に関連する例外)

エラー種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	2.1.6	This rule relates to human comprehensibility; no consuming software application should ever fail to process an instance just because it uses a different namespace prefix. XBRL instances should use the recommended default namespace prefix for all namespaces.	EDINET タクソノミや企業別タクソノミを含む DTS 内で宣言されている名前空間プレフィックスと、報告書インスタンスで宣言されている名前空間プレフィックスとで異なるものが存在します。報告書インスタンスの名前空間プレフィックスは EDINET タクソノミや企業別タクソノミを含む DTS 内で宣言されている名前空間プレフィックスと同じものを利用してください。
WARNING	2.1.7	Unused namespace declarations should not appear in XBRL instances.	報告書インスタンス中のいずれの要素にも使用されていない名前空間が宣言されています。報告書インスタンス内で使用されていない名前空間宣言は削除してください。
WARNING	2.4.1	An instance must not contain s-equal contexts	報告書インスタンスに、エンティティ(entity)要素、期間時点(period)要素、シナリオ(scenario)要素の設定が全て同じであるコンテキストが複数存在しています。エンティティ要素、期間時点要素、シナリオ要素の設定が全て同じであるコンテキストがないか確認してください。特に、個別財務諸表のコンテキストのシナリオ要素に NonConsolidated(個別財務諸表)の設定のものが確認してください。
WARNING	2.4.2	An XBRL instance SHOULD not contain unused contexts.	報告書インスタンス中のいずれの要素からも参照されていないコンテキストが定義されています。報告書インスタンス内を確認し、使用しないコンテキストは削除してください。 特に、ひな形インスタンス又はサンプルインスタンスを元に報告書インスタンスを作成した場合、使用しないコンテキストの削除もれがないか確認してください。
WARNING	2.7.2	An instance must not contain unused units.	報告書インスタンス中のいずれの要素からも参照されていないユニット(単位)が定義されています。報告書インスタンス内を確認し、使用しないユニットは削除してください。
WARNING	2.8.1	An instance must not contain duplicate items.	報告書インスタンスにおいて、同一コンテキストと同一ユニットを設定した重複要素が存在します。重複要素を確認し、コンテキストやユニットの設定を修正してください。

エラー種別	コード	メッセージ	対処方法
WARNING	2.8.10	Items and Tuples should not have false as the value of the xsi:nil attribute.	報告書インスタンス中にいずれかの要素の xsi:nil 属性に"false"が設定されています。当該要素について、「該当なし」を表現する場合は、"true"を設定し、それ以外の場合は xsi:nil="false"の記載を削除してください。

■■■ 改版履歴 ■■■

版	改版日	改版内容
1.0	2013.08	初版
1.1	2013.11	・図表 1-4-1 「EC8038W」及び「EC8038R」の対処方法に注記を追加。
1.2	2013.12	・図表 1-4-3 ルール No.「1.5.10」の対処方法に注記を追加。
1.3	2014.03	・図表 1-4-1 「EC5100S」の対処方法に注記を追加。
1.4	2014.08	・図表 1-4-1 「EC5619E」、「EC5620E」及び「EC5620W」を追加。
1.5	2014.10	・図表 1-4-1 「EC5621R」及び「EC5622W」を追加。
1.6	2014.11	・図表 1-2-1 「EC0362E」を追加。
1.7	2015.03	・図表 1-4-1 「EC5613W」を追加。
1.8	2015.04	・図表 1-4-1 「EC8060S」を追加。 ・図表 1-4-1 「EC8060S」の対処方法に注記を追加。
1.9	2017.03	・図表 1-5-1 「EC5002E」のメッセージ内容を修正。
1.10	2017.09	・図表 1-3-1 「EC1050W」～「EC1056W」のメッセージを削除。
1.11	2018.03	・図表 1-4-1 「EC5031E」～「EC5033E」、「EC5623W」及び「EC8061S」～「EC8076S」のメッセージを追加。
1.12	2018.05	・図表 1-4-1 「EC8023W」の記載を詳細化。
1.13	2018.12	・図表 1-4-1 メッセージと対処方法(EDINET ルールに関する例外)の EC5616S/EC8058S、EC8019S、EC8072W(EC8072S から変更)に注記を追加。 ・同図表の EC8069W(EC8069S は削除)の記載を詳細化。
1.14	2020.04	・図表 1-4-1 メッセージと対処方法(EDINET ルールに関する例外)の EC8069W の対処方法中のラベルを更新。 ・「EC5100S」～「EC5103S」以外の「SERIOUS WARNING」を全て「WARNING」に変更。
1.15	2020.09	・「IFRS タクソミ」に係る記載を削除(2019年(平成31年)3月31日以後に終了する事業年度に係る書類(四半期報告書は、2019年(平成31年)4月1日以後に開始する事業年度に係るもの)から、IFRS 財務諸表のタグ付けには、EDINET タクソミ中の国際会計基準タクソミを適用。)
1.16	2022.11	・図表 1-4-1 「EC8011W」の対処方法に注記を追加。
2.0	2023.01	システム再構築に伴い、次の変更。 ・画面に関する画像を変更。 ・提出サイト及び信頼済みサイトへの登録の URL を変更。

